

令和7年度 第2回上越市スポーツ推進審議会 次第

日 時 令和7年12月1日（月）午後1時30分～

場 所 上越市教育プラザ 研修棟 大会議室

1 開 会

2 挨 拶 上越市スポーツ推進審議会委員長 周東 和好

3 議 題

第3次総合教育プランに基づくスポーツ施策の取組状況

(1) 取組 4-1 スポーツ活動の充実【資料1】

(2) 取組 4-2 スポーツ環境の充実【資料2】

4 その他

- ・中学校部活動の地域展開について【当日配布】

5 閉 会

プラン 4 スポーツの振興

取組 4－1 スポーツ活動の充実

目標

健康づくりや体力づくり、生きがいづくりや競技力の向上などの多様なスポーツ活動を通じて、人と地域が結び付き、活力のある地域社会を実現する。

1 スポーツ活動の普及推進

成果指標

| 評価内容 | 令和 7 年度 目標値 | 10 月末時点 達成状況 |
|---|----------------|-----------------|
| 1 回 30 分以上の軽く汗をかく運動を週 2 回以上、1 年以上実施している人の割合 ※実施率：市内の特定健康診断結果 | 38.4% | 35.5% |

中間評価

- ・ 特定健康診断結果による運動習慣の実施率は、目標値に対して 10 月末時点で 2.9 ポイント下回っている状況にある。
- ・ 働き方や余暇活動の多様化などにより、運動等の体を動かす機会を定期的に確保していくことが難しく、また、人口減少や少子高齢化により、各地域で開催されているスポーツイベントの一部（吉川体育祭・牧区体育祭）でも参加者やスタッフが集まらず、開催を見送る状況が発生している。
- ・ これから冬季を迎え、降雪などの天候等に起因した外出機会の減少が見込まれるが、引き続き、上越市スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブと連携し、市民の健康づくりや体力づくりを目的としたイベントや各種教室を計画的に開催し、運動への関心と定着化を目指した取組を進めていく。

主な取組

- (1) スポーツ推進委員によるスポーツの指導・啓発
日常的にスポーツができる環境づくりを目指し、各種教室やスポーツイベントに指導者としてスポーツ推進委員を派遣した。

| 内 容 | 実施回数・参加人数 | |
|---|-----------------------|-----------------------|
| | 令和 7 年度 (10 月末時点) | 令和 6 年度 (10 月末時点) |
| ○出前講座 スポーツ推進委員による市民対象の講座 ・ニュースポーツ教室 ・地域での健康体操 ・市民向け体力測定会など | 59 回/120 回 2,560 人 | 64 回/119 回 2,327 人 |
| ○ニュースポーツ教室 手軽に親しみやすい各種ニュースポーツを体験する教室 (1 教室 20 人募集) | 11 回/16 回 55 人 | 10 回/10 回 65 人 |
| ○親子運動教室 2 歳から 5 歳児を対象とした親子の運動教室 (1 教室 15 組 30 人募集) | 2 回/4 回 36 人 | 2 回/3 回 44 人 |

- (2) スポーツ大会・教室、各種団体等の支援（補助金・交付金）
・スポーツ大会等の支援（補助事業 19,860 千円…交付率 98.4%（決算見込み））

| 内 容 | 令和 7 年度 | | 令和 6 年度 参加者数 |
|-------------------------------|--|---------------------|-----------------|
| | 実施日 | 参加者数 10 月 31 日現在 | |
| 米山山麓ロードレース大会 | 4 月 20 日(日) | 634 人 | 611 人 |
| スカイスポーツ大会 | 5 月 10 日(土)～11 日(日) 8 月 23 日(土)～24 日(日) 10 月 25 日(土)～26 日(日) | 184 人 | 145 人 |
| 高士地区・高士小学校体育大会 | 5 月 24 日(土) | 180 人 | 200 人 |
| 廃校を活用した交流の場創出 (スポーツクライミング) | 5 月 24 日(土)、11 月 16 日(予定) | 33 人 | — |
| 歩こまいか名立 | 6 月 1 日(日) | 11 人 | 25 人 |
| 高田城ロードレース大会 | 6 月 1 日(日) | 2,158 人 | 2,024 人 |
| やすづかスポーツ大会 | 6 月 8 日(日) | 180 人 | 189 人 |
| うらスポマラソン大会 | 6 月 15 日(日) | 336 人 | 264 人 |
| 八千浦地区活性化・健康増進事業「ニュースポーツ DAY」 | 6 月 23 日(月)、9 月 28 日(日) 10 月 27 日(日)、2 月 28 日(予定) | 180 人 | — |
| くびき総合スポーツフェスタ | 7 月 6 日(日)～10 月 19 日(日) | 1,123 人 | 1,361 人 |
| 名立区不動山登山 | 7 月 21 日(月・祝) | 28 人 | 41 人 |
| ビーチバレーボール 4 人制 inJOETSU 大会 | 7 月 13 日(日) | 209 人 | 249 人 |
| 高士地区ニュースポーツ普及事業 | 8 月 1 日(金)～3 月 29 日(日) | 100 人 | — |
| ビーチラグビー上越大会 | 8 月 23 日(土)～24 日(日) | 260 人 | 250 人 |
| 中郷区体育祭 | 8 月 31 日(日) | 300 人 | 300 人 |
| 市民スポーツ祭 | 9 月 23 日(火・祝)～11 月 23 日(日) | 555 人 | 1,850 人 |
| 上越自転車まつり | 9 月 27 日(土) | 100 人 | 488 人 |
| 三和区スポーツ大会（体育祭） | 9 月 29 日(日) | 600 人 | 中止 |
| 「テニスのまち柿崎」スポーツ交流 促進事業 | 10 月 11 日(土)～12 日(日) | 124 人 | 102 人 |
| 松ヶ峰トリムマラソン大会 | 10 月 13 日（月・祝） | 101 人 | 108 人 |
| 三和区スポーツ大会（駅伝） | 10 月 19 日(日) | 140 人 | 中止 |
| 三郷地区健康ウォーク事業 | 10 月 26 日(日) | 40 人 | — |
| 清里区秋季スポーツ交流会 | 11 月 1 日(土) | 200 人 | 200 人 |
| 名立区駅伝競走大会 | 11 月 3 日(月・祝) | 180 人 | 180 人 |
| 名立バスケットボール支援事業 | 11 月 15 日(土) | 60 人 | — |
| 中郷歩くスキーとクロスカントリー スキー大会 | 令和 8 年 2 月 15 日(日)（予定） | — | 65 人 |
| 清里区冬季スポーツ交流会 | 令和 8 年 3 月 1 日(日)（予定） | — | 200 人 |
| レルヒカップスキー&スノーボード 大会 | 令和 8 年 3 月 14 日(土)（予定） | — | 中止 |
| 吉川区体育祭 | — | 中止 | 中止 |
| 牧区体育祭 | — | 中止 | 154 人 |

第3次総合教育プランに基づくスポーツ関係施策の取組状況（令和7年度中間報告）

- ・各種団体等への支援（補助事業2,980千円…交付率100%）
上越市スポーツ協会が実施するジュニア世代のアスリートの育成・強化を支援する。

| 内 容 | 予算額 | 補助額 |
|-----------------|----------|----------|
| スポーツ指導者養成事業 | 880 千円 | 880 千円 |
| スポーツアスリート育成強化事業 | 2,100 千円 | 2,100 千円 |

- (3) 上越一健康運動プログラム（J-WELLNESS）
上越教育大学と連携して、生活習慣の改善と健康増進を推進するため、有酸素運動及び体幹トレーニングの個別プログラムを提供する。

| 会 場 | 実施回数・参加人数 | |
|------------------------|-------------------|-------------------|
| | 令和7年度 (10月末時点) | 令和6年度 (10月末時点) |
| 高田スポーツセンター 上越市総合体育館 | 23回/40回 590人 | 26回/40回 557人 |



- (4) いきいきスポーツ教室委託事業
スポーツクラブのない大島区、牧区でスポーツ教室を定期的を開催し、スポーツを楽しむ機会を提供する。

| 会 場 | 実施回数・参加人数 | |
|--------------------|-------------------|-------------------|
| | 令和7年度 (10月末時点) | 令和6年度 (10月末時点) |
| 大島多目的ホール ふれあい館他 | 17回/18回 62人 | 15回 203人 |
| 牧体育館他 | 13回/14回 226人 | 12回 242人 |



- (5) パラスポーツ体験事業
日本財団パラスポーツサポートセンターと連携して、パラアスリートによるデモンストレーションやパラスポーツ体験等の出前授業を実施した。

| No. | 実施校（学年） | 日 程 | 参加者数 | 備考 |
|-----|--------------|----------|------|-----------------|
| 1 | 大潟町小学校（4年生） | 5月13日（火） | 79人 | あすチャレ！スクール |
| 2 | 飯小学校（6年生） | 5月14日（水） | 49人 | |
| 3 | 牧小学校（全校） | 5月15日（木） | 24人 | |
| 4 | 高士小学校（5、6年生） | 5月16日（金） | 21人 | |
| 5 | 大和小学校（6年生） | 5月16日（金） | 34人 | |
| 6 | 三和小学校（6年生） | 6月12日（木） | 41人 | あすチャレ！ジュニアアカデミー |



- (6) ドイツへのジュニア選手派遣事業
東京2020オリンピック・パラリンピックにおけるドイツ柔道選手団の受け入れを契機に始まった相互交流について、市内ジュニア選手の派遣を支援した。

| 競技 | 日 程 | 派遣先 | 派遣人数 |
|----|---------------------------------|-------------------------------|--------------------|
| 柔道 | 10月10日（金）～17日（金） （前泊及び移動日含む） | ドイツ バーデン＝ヴュルテンベルク州カールスルーエ等 | 6人 （選手5人、指導者1人） |

※12月に報告会を予定



第3次総合教育プランに基づくスポーツ関係施策の取組状況（令和7年度中間報告）

2 総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業

□ 成果指標

| 評 価 内 容 | 令和 7 年度目標 | 10 月末時点達成状況 |
|---|-----------|-------------|
| 市内の総合型地域スポーツクラブ、上越市スポーツ協会に所属する会員の人口に対する割合 | 12.5% | 10.9% |

☐ 中間評価

- ・ 総合型地域スポーツクラブ及び上越市スポーツ協会に所属する会員数は、10 月末時点で 19,305 人であり、前年同時期に比べて 63 人減少しており、令和 7 年度の目標値に対して 1.6 ポイント下回っている状況である。
- ・ 会員数は、人口減少や少子高齢化などの社会的な影響により、特に団体競技のチームの統合・解散などが増えつつあり、会員数の維持も困難な状況にある。
- ・ 会員数の減少によって、総合型地域スポーツクラブ及び上越市スポーツ協会の運営も徐々に難しくなっていくことから、将来に向けた安定した組織運営に関する意見交換を関係者等と進めながら、地域のニーズに即した持続可能な運営体制への見直しに取り組んでいく。

□ 主な取組

- (1) 総合型地域スポーツクラブ活動支援補助金

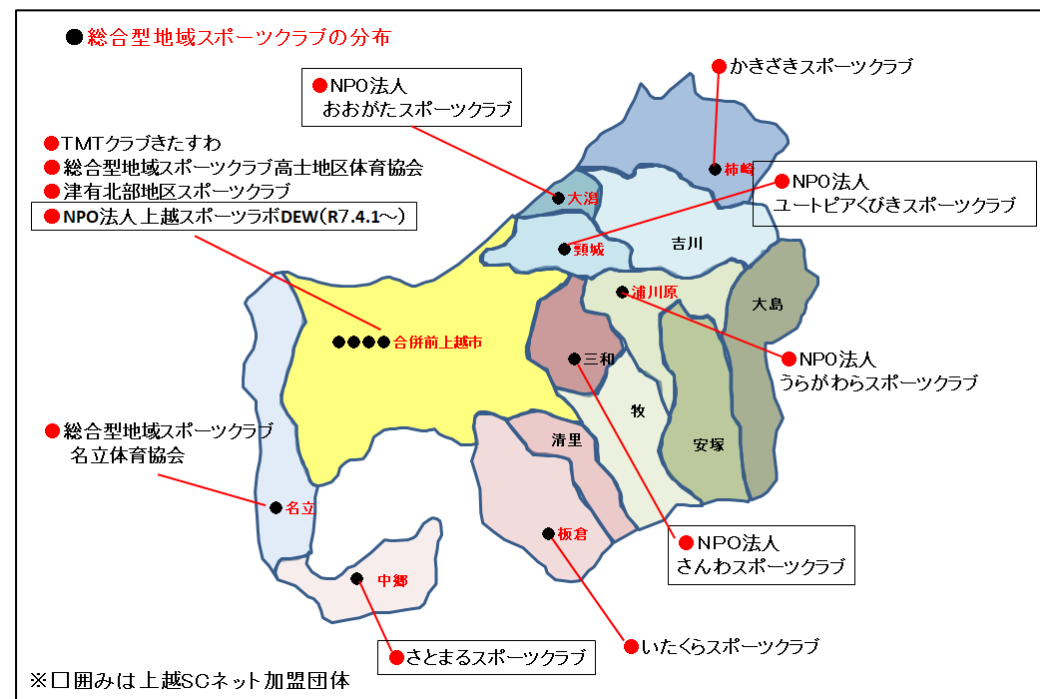
地域住民が自主的・自発的な運営により、子どもから大人まで生涯にわたって様々なスポーツをそれぞれの目的に応じて楽しむことのできる総合型地域スポーツクラブの設立を支援する。

- ・NPO法人上越スポーツラボDEW（令和7年4月1日設立）

- (2) 総合型地域スポーツクラブ活動運営補助金

地域におけるスポーツ活動の推進役となる、総合型地域スポーツクラブのネットワーク化を担う上越 SC ネットの運営を支援する。

※一般財団法人上越 SC ネット（加盟クラブ：さんわスポーツクラブ、ユートピアくびきスポーツクラブ、おおがたスポーツクラブ、さとまるスポーツクラブ、上越スポーツラボ DEW）



- (3) 総合型地域スポーツクラブ研修会

クラブのスタッフや指導者等を対象に、SNS を活用した情報発信力の向上を図るための研修会を開催する。

| | |
|------|---|
| 開催日時 | 令和8年1月下旬（予定） |
| 会 場 | 未定 |
| 内 容 | 「SNS・ソーシャルメディアを利用した広報力向上研修（仮）」 情報発信がこれまでにない簡単な時代になり、SNS・ソーシャルメディアの活用は重要なテーマになっていることから、研修会ではFacebook、X、Instagram、YouTubeの4つの代表的なツールの特徴を紹介し、活用事例を通じて広報の取り組みについて学ぶ。 |

- (4) 総合型地域スポーツクラブ体験会（上越 SC ネット主催）

多様なスポーツ活動の機会を提供し、総合型地域スポーツクラブの認知度向上を図るための体験会を実施した。

| | | | |
|------|--|------|---------------------------------------|
| 開催日時 | ① 9月23日(火・祝) 9時00分～11時30分 ② 9月28日(日) 9時00分～11時30分 ③10月 5日(日) 14時30分～17時30分 ④10月19日(日) 9時00分～11時30分 ⑤11月 3日(月・祝) 9時00分～11時30分 | | |
| 会 場 | ①三和体育館・三和スポーツセンター ②大潟体育センター ③リージョンプラザ上越 ④頸城 B&G 海洋センター ⑤中郷総合体育館 | 参加者数 | ①55人 ②25人 ③58人 ④104人 ⑤43人 |
| 内 容 | ヒップホップダンス、バドミントン、リズムジャンプ、ニュースポーツ、スケートボード、体軸トレーニング、チアリーディング、健康体操、カポエラ、バレーボール、インディアカ、グラウンドゴルフ、パルクール | | |



※アクティブ・チャイルド・プログラム (ACP)

(公財)日本スポーツ協会が開発した、幼児期の子どもが発達段階に応じて身につけるべき動きを、様々な運動遊びを通して楽しく習得できる運動プログラムのこと。

第3次総合教育プランに基づくスポーツ関係施策の取組状況（令和7年度中間報告）

3 スポーツ競技力の向上

成果指標

| 評価内容 | 令和7年度目標 | 10月末時点 進捗状況 |
|---------------------------|---------|----------------|
| 中高生の北信越大会と小・中・高生の全国大会出場者数 | 668人 | 364人 |

中間評価

・ジュニア世代の競技力の向上を目指した「地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業」及び「ジュニアトップアスリート育成強化事業」の対象である空手道（67人）、バレーボール（6人）、スポーツクライミング（4人）、柔道（10人）、硬式野球（49人）の選手の活躍が全体の4割弱と顕著であり、これから冬季競技がシーズンを迎えることから、北信越大会や全国大会への出場者数の増加が見込まれる。

主な取組

(1) ジュニアアスリートの育成

ジュニア期から少年期まで一貫した指導体制で選手の育成・強化に取り組む競技団体を支援する。

- ・上越市スポーツ少年団補助金（補助事業 218 千円）
- ・地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業（県補助事業 1,833 千円）
空手道、バレーボール、スポーツクライミング
- ・ジュニアトップアスリート育成強化事業（補助事業 1,330 千円）
柔道、硬式野球、スキー競技
- ・上越市スポーツ協会ジュニアスポーツクラブ補助金（補助事業 1,527 千円）



(2) 日本体育大学との連携事業

専門指導者を招き、市内のジュニアアスリート及び指導者を対象に、技術面や指導面に関する研修会「柔道ジュニアアスリートスキルアップ練習会」を開催する。

| | |
|------|---------------------------|
| 開催日 | 令和8年2月23日（月・祝）（予定） |
| 会場 | 謙信公武道館 小道場 |
| 講師 | 日本体育大学柔道部 |
| 参加者数 | 上越地区小学生、中学生、高校生柔道選手・柔道指導者 |

※バレーボール競技は、大学側の大会日程と重なったため調整中

(3) スポーツ活動サポート事業

小・中学校で行われる課外活動及び部活動の競技力の向上を図るため、専門的な知識と技術を有する外部指導者を派遣する。

| 区分 | 派遣種目 | 令和7年度 (10月末時点) | 令和6年度 (10月末時点) |
|-----|-------------|---|---|
| 小学校 | 水泳 | 6回/9回（上雲寺） | 9回/9回（上雲寺） |
| | クロスカントリースキー | 0回/9回（中郷） | 0回/9回（中郷） |
| 中学校 | サッカー | 8回/12回（城北） | 15回/25回（城北） |
| | バスケットボール | 28回/52回（城東） | 37回/50回（城東） |
| | バレーボール | 16回/52回（頸城） | 30回/52回（頸城） |
| | ソフトテニス | 8回/15回（春日） | 13回/20回（城東） 7回/52回（春日） 25回/52回（柿崎） |
| | 剣道 | 36回/36回（直江津東） 4回/4回（吉川） | 10回/62回（直江津東） 4回/20回（吉川） |
| | 卓球 | 40回/52回（春日） 34回/52回（大潟町） 6回/52回（三和） | 34回/52回（春日） 26回/62回（大潟町） 27回/52回（三和） |
| | 野球 | 29回/52回（春日） 8回/10回（名立） | 18回/20回（春日） 36回/52回（名立） |
| | 陸上 | 2回/3回（吉川） 46回/67回（中郷） | 22回/62回（直江津東） 10回/13回（吉川） 52回/52回（中郷） |
| | 駅伝 | 10回/26回（中郷） | - |

(4) 指導者講習会の開催

児童生徒の発達特性やハラスメントなど、保護者が安心して指導を任せられる指導者の確保・育成を図るため、指導者向けの研修会を開催した。また、講習会内容の録画を用いたビデオ講習会を開催した。

| | |
|----------|---|
| 開催日 | 4月13日（日） |
| 会場 | 上越文化会館 |
| 内容 講師 | 上越教育大学 講師「地域クラブ活動の指導者として大切なこと」 青山学院大学 教授「地域クラブマネジメントの視点からこれからの地域クラブの在り方を考える」 |
| 受講者数 | 55団体 19種目 123人 5団体 3種目 24人（ビデオ講習会） |

(5) スポーツ&カルチャーわくわくトライアル（学び愛フェスタ）

子どもたちが「やってみたい」活動を自ら選択できるように、様々なスポーツ・文化芸術活動を通じて、「楽しさや」や「面白さ」を感じてもらう機会を提供した。

| | |
|------|--|
| 開催日 | 11月15日（土） |
| 会場 | リージョンプラザ上越 インドアスタジアム |
| 参加団体 | 13団体（スポーツ団体7、文化団体6） 柔道、ソフトボール、バドミントン、剣道、太極拳、マルチスポーツ、ラグビー 玩具パフォーマンス、ボードゲーム、eスポーツ、プログラミング、読み聞かせ、茶道 |
| 来場者数 | 889人 内訳：大人392人 子ども353人、参加団体144人 |

※昨年までの「地域クラブフェア」から名称を変更して実施。

第3次総合教育プランに基づくスポーツ関係施策の取組状況（令和7年度中間報告）

【参考】上越市スポーツ協会及び総合型地域スポーツクラブが実施した主なイベント等

| 主催団体 | 内容 | 実施日 | 参加者数 |
|--------------------|------------------------------|------------------------------------|-------|
| 一般財団法人上越市スポーツ協会 | 幼年野球大会 | 9月20日（土） 9月21日（日） 9月23日（火・祝） | 783人 |
| | 市民親善ゴルフ大会 | 9月28日（日） | 613人 |
| | 青年野球大会 | 8月14日（木） 8月15日（金） | 588人 |
| | 少年野球大会 | 8月2日（土） 8月3日（日） | 267人 |
| | 3×3 バスケット大会 | 8月15日（金） | 209人 |
| | 謙信公祭奉納武道大会 | 8月16日（土） 8月24日（日） 8月31日（日） | 538人 |
| 津有北部地区スポーツクラブ | TST 杯グラウンドゴルフ大会 | 10月12日（日） | 約60人 |
| | 冬季運動会 | 1月31日（日）（予定） | － |
| 高土地区体育協会 | 高土地区高土小学校体育大会 | 5月24日（土） | 約250人 |
| | TST 杯グラウンドゴルフ大会 | 10月12日（日） | 約60人 |
| TMT クラブきたすわ | まつりっち in 北諏訪 | 10月18日（土） | 約400人 |
| NPO 法人上越スポーツラボ DEW | 中高生のアスリートサポート | 4月18日（金）～ 3月19日（金） | 約133人 |
| | オリンピック交流会 | 4月19日（土） | 20人 |
| NPO 法人うらがわらスポーツクラブ | うらスポマラソン | 6月15日（日） | 336人 |
| かきざきスポーツクラブ | 秋季バレーボール大会 | 10月13日（月・祝） | 106人 |
| | かきざきスポーツフェスティバル（駅伝大会） | 10月26日（日） | 150人 |
| NPO 法人おおがたスポーツクラブ | 大潟バレーボール大会 | 7月6日（日） | 171人 |
| | おおがたオープンテニス大会 | 7月27日（日） | 120人 |
| ユートピアくびきスポーツクラブ | UKS カップサッカー大会 | 6月1日（日） | 200人 |
| | 高齢者スポーツ大会 | 6月7日（土） | 180人 |
| さとまるスポーツクラブ | さとまるスポーツクラブ体験会 | 8月31日（日） | 約300人 |
| | 中郷区体育祭 | 8月31日（日） | 約300人 |
| いたくらすスポーツクラブ | 板倉ふれあいまつり キッズパーク（スポーツ体験会） | 11月2日（日） | 57人 |
| | チャレンジエアロ大会 | 10月12日（日） | 200人 |
| さんわスポーツクラブ | さんわソフトバレー大会 | 6月15日（日） | 30人 |
| | ふれあいテニス大会 | 11月23日（土）（予定） 11月24日（日）（予定） | － |
| 名立区体育協会 | 歩こまいか名立 | 6月1日（日） | 11人 |
| | 名立区駅伝競走大会 | 11月3日（月・祝） | 180人 |

プラン4 スポーツの振興

取組4-2 スポーツ環境の充実

目標

スポーツ施設が適正に配置され、安全で快適にスポーツができる環境を整備する。

1 体育施設整備事業

成果指標

| No. | 評価内容 (1施設当たりの年間延べ利用者数) | 令和7年度目標 (R2～R6 平均値) | 10月末時点 達成状況 |
|-----|---------------------------|------------------------|----------------|
| 1 | 体育館 | 17,419 人 | 13,199 人 |
| 2 | 野球場 | 5,415 人 | 4,990 人 |
| 3 | 多目的広場 | 4,791 人 | 4,422 人 |
| 4 | テニスコート | 6,760 人 | 6,052 人 |

中間評価

- 1施設当たりの年間利用者数は、目標値に対して10月末時点で、体育館76%、野球場、多目的広場でそれぞれ92%、テニスコート89%となっている。
- 今夏の酷暑により、市内では合計12回の熱中症警戒アラートが発出されたほか、渇水による節水対策が取られたことなども影響し、屋外施設の利用者数は減少した。
- 施設の維持管理は、施設の長寿命化等に向けた各施設の大規模改修工事設計業務委託のほか、柿崎第一庭球コートやユートピアくびきふれあいグラウンドにおける人工芝張替工事、高田城址公園陸上競技場の第二種公認更新工事など、いずれも年度内に完了する見込みである。
- スポーツ用具は、高田城址公園陸上競技場や上越総合運動公園テニスコートなど、予定した全ての備品類の購入・配置は完了した。

目標を達成するための事業等

(1) 体育施設の整備・修繕費、備品購入費

①主な委託業務

| 工事名 | 実施内容 | 実施状況 |
|------------------------------------|----------------------------|------------|
| リージョンプラザ上越インドアスタジアム等照明LED化工事設計業務委託 | 照明LED化等 | 令和8年1月完了予定 |
| リージョンプラザ上越トイレ改修工事設計業務委託 | トイレの洋式化等 | 令和8年3月完了予定 |
| 牧体育館大規模改修工事設計業務委託 | 長寿命化に向けた外壁・屋根・建具改修、照明LED化等 | 令和8年1月完了予定 |
| 頸城B&G海洋センター大規模改修工事設計業務委託【R6繰越】 | 長寿命化に向けた外壁・屋根・建具改修等 | 令和7年6月完了 |

②主な工事等

| 工事名 | 実施内容 | 実施状況 |
|--------------------------|--------------------------------|------------|
| リージョンプラザ上越館内換気設備更新工事 | 換気設備入替 | 令和8年2月完了予定 |
| 高田城址公園陸上競技場公認更新工事 | トラック舗装（オーバーレイ、高圧洗浄等）、レーンライン塗装等 | 令和8年3月完了予定 |
| 柿崎第一庭球コート人工芝張替工事 | 人工芝張替 | 令和7年10月完了 |
| ユートピアくびきふれあいグラウンド人工芝張替工事 | 人工芝張替 | 令和7年11月完了 |
| オールシーズンプール空調機蒸気コイル交換工事 | プール内空調用設備交換 | 令和7年10月完了 |

③主な備品購入等

| 品名 | 施設名 | 実施状況 |
|-------------------------------------|--------------------------------|-----------|
| 陸上競技場公認検定備品の更新（電子音スタート発信装置、超音波風速計等） | 高田城址公園陸上競技場 | 令和7年11月完了 |
| 硬式用テニスネット、テニスポスト | 上越総合運動公園テニスコート | 令和7年5月完了 |
| ホームベース | 高田城址公園野球場 | 令和7年5月完了 |
| ピッチャープレート、塁ベース・ホームベース | スポーツ公園野球場 | 令和7年5月完了 |
| グラウンドレーキ | 藤野野球場、びょうぶ谷野球場、スポーツ公園野球場・多目的広場 | 令和7年7月完了 |
| コートブラシ | 上越総合運動公園テニスコート、高田城址公園庭球場、少年野球場 | 令和7年5月完了 |

④建築物等法定点検（令和7年8月完了）

建築物点検（8か所）、建築設備点検（15か所）、防火設備点検（6か所）、消防設備点検（1か所）

⑤高田城址公園陸上競技場の公認検定（令和8年3月予定）

日本陸上競技連盟による第2種競技場の更新

(2) 体育施設の適正配置（前期計画：R3～7年度）

| 施設名 | 計画（予定） | 備考 |
|-------|-------------|-----------------------|
| 柿崎体育館 | 令和8年3月31日廃止 | （仮称）柿崎区新保育園の建設用地として活用 |

1 地域クラブ活動整備を巡る動き

上越市の方針

➤ R6.12 上越市地域クラブ活動整備方針

✓ 地域の多様な関係者が主体者として関わる活動

- ・既存のクラブ、保護者・関係者がニーズに応じて立ち上げるクラブなど、市ガイドラインに沿う活動を行うクラブを公募、認定
- ・行政が主導して新たなクラブを創設するものではない。

✓ まずは「休日」から

- ・休日の学校部活動を段階的に削減。令和8年4月から行わない。
- ・平日の地域クラブ活動整備は指導者の確保や参加者の送迎などが課題

国の方針

➤ R4.12 「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」

- ・令和5年度～7年度「改革推進期間」
- ・まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進

➤ R6～7 有識者会議において令和8年度以降の方向性や具体的方策を検討

R7.12上旬 新たなガイドラインの策定・公表を予定

📖 参考 パブリックコメント資料

- ・「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」骨子
- ・ガイドライン別冊資料（地域クラブ活動に関する認定制度（イメージ案））

地域クラブ活動整備の現状・課題、今後の方向性について

国の新たなガイドライン

※詳しくは国のパブリックコメント資料を参照

着目点 （※） 「**認定制度**」国が定めた要件等に基づき、市町村等が地域クラブ活動の認定を行う仕組みを構築

■定義・呼称

○公立の中学校等を設置する市町村等が中学校の部活動を継承・発展させた生徒のスポーツ・文化芸術活動として認定した活動を「認定地域クラブ活動」という。

■認定に当たっての留意事項

○市町村等は、平日・休日を通した活動を包括的に企画・調整した上で、部活動の地域展開の方針を示す推進計画等を策定する。

○推進計画等の策定に当たっては、市町村等が、公立の中学校等の生徒数や生徒のニーズ、活動場所となる施設の状況等の地域の実情を踏まえ、認定する地域クラブ活動の数や競技種目等を定めるとともに、以下の観点等を考慮し、各地域クラブ活動の参加対象となる生徒の居住する対象区域を定める。

- ・ 地域の子供たちは地域で育てるという意識の下で地域の関係者が連携して活動を支えること
- ・ 生徒の在籍する中学校等との連携を図ること
- ・ 活動場所への移動に過度な負担が生じないように配慮すること
- ・ 充実した活動とするために競技種目等に応じて過多・過少な人数とならないよう適切な参加人数の規模にすること

○対象区域は、中学校区単位で加入する地域クラブ活動が明確になるように、例えば、単一の中学校区、複数の中学校区、当該市町村の一部などとすることが考えられる。

地域クラブ活動整備の現状・課題、今後の方向性について

2 上越市地域クラブ活動整備の現状と課題

- 認定46団体 スポーツ36 文化芸術10 (R7.11.14現在)
- 当市の取組は関係者が主体的に関わることを前提としているため、休日の活動ニーズへの対応度合いに**不均一**が見られる。
 - ・部活動関係者から8年度の休日活動の受け皿を心配する声も寄せられる。
- 学校と地域クラブの連携状況に**濃淡**がある。
 - ・学校が多く、地域クラブの活動方針や生徒一人一人の活動状況を把握することが可能なのか懸念する声もある。

「これまで」【改革推進期間(令和5年度～7年度)】

- ・地域の多様な関係者の主体的な取組の尊重
- ・「新たな価値」の創出

「展開」

上越市地域クラブ 11.14現在

□ スポーツ 36

- ✓ 剣道 3
- ✓ サッカー 2
- ✓ 柔道 2
- ✓ 水泳競技 1
- ✓ ソフトテニス 1
- ✓ ソフトボール 1
- ✓ 卓球 4
- ✓ バスケットボール 8
- ✓ バドミントン 1
- ✓ バレーボール 10
- ✓ ラグビー 1
- ✓ 陸上競技 1
- ✓ マルチスポーツ 1

□ 文化芸術 10

- ✓ 合唱 1
- ✓ 管弦楽 1
- ✓ 吹奏楽 5
- ✓ プログラミング 1
- ✓ ボードゲーム 1
- ✓ マーチングバンド 1

3 上越市地域クラブ活動整備の今後の方向性

「これから」【改革実行期間(前期令和8年度～10年度、後期令和11年度～13年度)】

- ・学校ごと種目ごとに異なる地域クラブ活動の充足状況等に応じた個別具体的な手当て
- ・部活動の教育的意義を継承する地域クラブ活動として、学校と連携した適切な体制の整備、適切な指導・安全安心の確保

「展開」 「調整」 「改善」

地域クラブ活動整備の現状・課題、今後の方向性について

今後の方向性 個別課題対応案

➤ 認定制度の見直し

- ・ 8年度は国の認定制度対応の調整期間とし、認定は暫定認定とする。
- ・ 地域クラブ活動の参加対象となる生徒の居住する対象区域を定める等の調整が必要なケースでは該当クラブと協議調整を行う。

➤ 地域クラブ活動の充足状況等に応じた個別具体的な手当て

- ・ 生徒ニーズのある地域クラブ活動の整備を地域クラブ活動推進室がコーディネーター役となり個別具体的に支援する。

☞ 地域クラブ活動コーディネーターの活用

➤ 地域クラブ活動「運営団体」の役割の整理

- ・ 国の新たなガイドラインに自治体と地域クラブ活動の運営団体・実施主体の役割分担が示されることを受け、上越市地域クラブ活動の運営団体の在り方や必要な体制等に関し協議・整理し、9年度以降の適切な運営体制構築につなげる。
- ・ 8年度は必要に応じて運営団体の役割を教育委員会が担う。

上越市地域クラブ一覧表（令和7年11月14日現在）

※「上越市地域クラブ」として認定された団体を紹介します。活動内容等の詳細については、直接各クラブにお問い合わせください。

※空欄箇所は、今後更新予定です。

| 分野 | 種目 | No. | クラブ名 | 参加対象 | 活動日時 | 活動場所 | 会費 | 活動レベル | 見学・体験 | 代表者 | 連絡先 | |
|------|----------|-----|--|----------------------|--|--------------------|---|-----------|--------------------------------------|--------|---------------|------------------------------------|
| | | | | | | | | | | | 電話番号 | メールアドレス |
| スポーツ | 剣道 | 1 | 中央剣道スポーツ少年団 | 年長～中学3年生 | 水・土曜日 19:00～20:10 ※希望者は21:00まで | 春日小学校 | 小学生 12,000円／年 中学生 6,000円／年 | 初心者・中級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 浅野 則夫 | 090-3093-2275 | jouetu.chuoukendo@gmail.com |
| | | 2 | 頸城大湊少年剣道部 | 小学1年生～中学3年生 | 火・金・土曜日 19:30～21:30 | 頸城B&G海洋センター | 月会費 3,000円 ※その他遠征費などは別途 | 初心者～上級者向け | 随時可 (飛び込みでの見学も可) | 長谷川 将士 | 090-9202-1307 | kubikikendou@gmail.com |
| | | 3 | 清徳館剣道クラブ | 小学1年生～中学3年生 | 火・金曜日 19:00～21:00 土曜日 17:00～19:00 | 稲田小学校 ほか | 月会費 2,000円 | 初心者～上級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 國弘 泰昌 | 025-523-4662 | kunihiro5592@gmail.com |
| | サッカー | 4 | 上越サッカー協会FC | 中学1年生～3年生 | 土曜日または日曜日 (月2回程度) 11:30～ 夏季 16:00～ ※2時間程度 | 高田城址公園 陸上競技場 ほか | 1回 100円 保険料 800円／年 | 初心者・中級者向け | 随時可 (体験希望の場合は、運動の できる服装及び靴が必要) | 榊原 潔 | 090-8619-4519 | joetsufaoffice2023@gmail.com |
| | | 5 | くびき野FC | 中学1年生～3年生 | 月・水・金・土曜日 19:00～21:00 | くびきふれあいグラウンド ほか | 入会金 3,000円 月会費 3,000円 ※その他保険料などは別途 | 中級者向け | 随時可 | 中嶋 均 | 090-2566-5418 | kubikinofc0904@gmail.com |
| | 柔道 | 6 | 順道館牛木塾 | 幼児～中学3年生 | 月・水・金曜日 19:30～21:00 ※希望者は21:30まで | 牛木塾柔道場 ほか | 月会費 3,000円 保険料 800円／年 ※その他遠征費などは別途 | 初心者～上級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 牛木 幹人 | 025-544-7890 | mikihito824@yahoo.co.jp |
| | | 7 | 上越柔道クラブ | 小学生～社会人 | 月・木曜日 18:30～20:30 土曜日 9:15～12:15 | 高田スポーツセンター | 月会費 2,000円 | 初心者～上級者向け | 随時可 | 山邊 志信 | 090-1046-3784 | yamashi@topaz.plala.or.jp |
| | 水泳 | 8 | 上越水泳協会地域クラブ | 小学6年生～中学3年生 | 土曜日 10:00～13:00 | オールシーズンプール | 1回 300円 | 中級者・上級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 内藤 隆 | 090-6221-5867 | ntswim@jorne.or.jp |
| | ソフトテニス | 9 | 庭友ジュニアクラブ | 小学1年生～中学3年生 | 土曜日 9:00～12:00 | 高田城址公園 第1テニスコート | 月会費 2,000円 ※変動あり | 初心者・中級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 片山 直樹 | 090-1691-8256 | katayamaaoaya@gmail.com |
| | ソフトボール | 10 | 上越桜花ソフトボールクラブ | 中学1年生～3年生 ※女子のみ | 隔週の日曜日 9:00～12:00 | 春日中学校 | 月会費 500円 ※年間分をまとめて納入 | 初心者・中級者向け | 随時可 | 竹内 守 | 090-2465-2757 | mamoru@joetsu.ne.jp |
| | 卓球 | 11 | ブルースカイジュニア | 年中～高校3年生 | 火曜日 19:00～21:00 土曜日 8:30～11:30 | 大潟町中学校 ほか | 月2回コース 一律 月会費1,500円 月4回コース 小学生 月会費2,000円 中学生 月会費2,500円 高校生 月会費2,000円 | 初心者～上級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 佐藤 吉則 | — | (公式LINE) https://lin.ee/F49dIgi |
| | | 12 | 八千浦TC(卓球クラブ) | 中学1年生～3年生 | 木曜日 18:30～20:30 土曜日 8:30～11:30 | 八千浦中学校 | 月会費 1,000円 ※その他保険料などは別途 | 初心者・中級者向け | 随時可 | 古岡 和人 | 080-5464-7267 | kazu080836@gmail.com |
| | | 13 | 大潟ジュニア卓球クラブ | 小学1年生～中学3年生 | 土曜日 9:00～12:00 | 大潟体育センター ほか | 入会金 1,100円 月会費 1,500円 | 初心者向け | 随時可(事前に要連絡) | 佐藤 貢徳 | 025-534-6270 | ohgata-sc@bz03.plala.or.jp |
| | | 14 | J.STYLE | 年中～中学2年生 | 月・水・金曜日 19:00～21:00 土曜日 9:00～12:00 | 上越市総合体育館 | 年会費 10,000円 月会費 初級・中級者コース 4,000円 上級者コース 10,000円 ※その他大会参加費などは別途 | 初心者～上級者向け | 随時可(事前に要連絡) 体験期間は一週間 | 山岸 優作 | 070-2837-6716 | j.style2024tt.team@gmail.com |
| | バスケットボール | 15 | 上越ジュニアバスケットボールクラブ | 小学5年生～中学3年生 | 月・土曜日 19:00～21:00 | 城西中学校 | 保険料 880円／年 ※その他遠征費などは別途 | 初心者向け | 随時可(事前に要連絡) | 野島 賢一 | 080-5670-3378 | ken-nojima@gol.com |
| | | 16 | 上越ジョーズバスケットボールクラブ | 小学5年生～中学3年生 ※男子のみ | 月・火・木・土曜日 19:00～21:00 | 城西中学校 ほか | 保険料 880円／年 ※その他遠征費などは別途 | 初心者～上級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 野島 賢一 | 080-5670-3378 | ken-nojima@gol.com |
| | | 17 | GRANDIR (グランディール) | 小学5年生～中学3年生 ※女子のみ | 月・火・木・土曜日 19:00～21:00 | 直江津東中学校 ほか | 保険料 880円／年 ※その他遠征費などは別途 | 初心者～上級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 久野 則之 | 090-2750-5152 | yukimizu0526@yahoo.co.jp |
| | | 18 | JOSEI B.B.C U15 | 城西中学校生徒 ※男子のみ | 月曜日・土曜日 | 城西中学校 | — | 中級者・上級者向け | — | 佐藤 幹夫 | — | — |
| | | 19 | JOETSU WILD BOARS (ジョウエツ ワイルド ボアーズ) | 中学1年生～3年生 ※男子のみ | 月・水・金曜日 19:00～21:00 | 直江津中学校 ほか | 月会費 4,000円 保険料 800円／年 ※その他遠征費などは別途 | 中級者・上級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 平野 慎也 | 090-1451-0273 | pira.1500@gmail.com |
| | | 20 | 上越 Neo | 中学1年生～3年生 ※女子のみ | 火・木曜日 19:00～21:00 土曜日 8:30～11:30 | 城西中学校 | 入会金 5,000円 積立金 2,000円／月 | 上級者向け | 小学生向けに 体験会実施予定 (期日未定) | 駒村 啓二 | — | kkomamu@gmail.com |
| | | 21 | UPBEAT U-15 | 小学6年生～中学3年生 ※女子のみ | 月曜日 18:30～20:00 水・金曜日 19:00～21:00 土曜日 9:00～12:00 | 春日中学校 ほか | 月会費 2,000円 ※その他保険料などは別途 | 初心者～上級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 平丸 怜 | 090-6944-4526 | upbeatu15@gmail.com |
| | | 22 | 城北HORIZON | 中学1年生～3年生 ※男子のみ | 月曜日 19:00～21:00 土曜日 9:00～12:00 | 城北中学校 | 月会費 1,000円 | 中級者・上級者向け | — | 富川 和幸 | 090-5795-7265 | — |
| | バドミントン | 23 | 直江津JBCスポーツ少年団 | 小学1年生～中学3年生 | 火・木曜日 19:00～21:00 日曜日 9:00～12:00 | 大潟町小学校 ほか | 月会費 2,000円 | 中級者・上級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 太田 好光 | 080-6542-5702 | badfam20120330@joetsu.ne.jp |

| 分野 | 種目 | No. | クラブ名 | 参加対象 | 活動日時 | 活動場所 | 会費 | 活動レベル | 見学・体験 | 代表者 | 連絡先 | |
|------|-----------------|-----|---------------------------------------|----------------------|---|--|---|-----------|-------------|--------|------------------------------|---|
| | | | | | | | | | | | 電話番号 | メールアドレス |
| | バレーボール | 24 | 城西バレーボールクラブ | 小学6年生～中学2年生 ※女子のみ | 月・水曜日 19:00～21:00 日曜日 9:00～12:00 | 三郷小学校 ほか | 月会費 1,000円 ※その他必要時に随時案内 (年1～2万円程度) | 初心者・中級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 山本 伸一 | 090-2769-0317 | shin.541211@gmail.com |
| | | 25 | 大潟JVC | 中学1年生～3年生 ※女子のみ | 水曜日 17:30～18:30 土曜日 8:30～11:30 | 大潟町中学校 | 月会費 1,500円 ※その他遠征費などは別途 | 中級者・上級者向け | 随時可 | 平原 一星 | 090-8723-2240 | hirara78@joetsu.ne.jp |
| | | 26 | KAKIZAKI VC (かきざきバレーボールクラブ) | 中学1年生～3年生 ※女子のみ | 火・金曜日 17:00～19:00 水・木曜日 17:00～18:00 土曜日は練習試合 ※木曜日は隔週で休み | 柿崎中学校 | 年会費 10,000円 月会費 3,000円 | 中級者・上級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 武田 雅人 | 090-2525-8791 | takemasa501@outlook.jp |
| | | 27 | 上越クラブ | 中学1年生～3年生 ※男子のみ | 火・水・金曜日 19:30～21:00 土曜日 9:00～12:00 | 関根学園高等学校 ほか | 月会費 1,000円 ※その他保険料等3,000円／年 | 初心者～上級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 池田 孝義 | 090-4613-7016 | ikepocha1234@gmail.com |
| | | 28 | Rikka-Rokka VBC | 小学5年生～中学3年生 ※女子のみ | 月・水曜日 19:00～21:00 土曜日 9:00～12:00 | 三和体育館 ほか | 月会費 1,000円 保護者会費 3,000円／年 | 中級者・上級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 山崎 日出海 | 090-4819-0621 | digitvolley23@gmail.com |
| | | 29 | JOVC | 小学6年生～中学3年生 ※女子のみ | 火曜日 19:00～21:00 土曜日 9:00～12:00 | 城北中学校 ほか | 入会金 1,000円 年会費 10,000円 ※遠征費は別途 | 初心者～上級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 小竹 靖次 | 090-3063-1447 | naminoricom@yahoo.co.jp |
| | | 30 | 直江津クラブ | 小学6年生～中学3年生 ※女子のみ | 火・水・金曜日 19:00～21:00 土曜日または日曜日 9:00～12:00 | 直江津中学校 ほか | 月会費 2,000円 ※別途徴収あり | 中級者・上級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 杉田 由香 | 080-1341-6435 | yuka.s0710@outlook.jp |
| | | 31 | 春日VC | 中学1年生～3年生 ※男子のみ | 月・火・金曜日 19:00～21:00 土曜日 13:00～16:00 | 春日中学校 ほか | 入会金 6,000円 年会費 24,000円 ※遠征費などは別途 | 初心者～上級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 金子 幸生 | 090-7564-2167 | nekochan@joetsu.ne.jp |
| | | 32 | IVC | 小学6年生～中学3年生 ※女子のみ | 水・金曜日 19:00～21:00 土曜日 9:00～12:00 | 板倉中学校 | 年会費 16,000円 ※遠征費は別途 | 中級者・上級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 丸山 靖夫 | 090-3473-1985 | maruyasu@carrot.ocn.ne.jp |
| | | 33 | 頸城バレーボールクラブ | 中学1年生～3年生 ※女子のみ | 月・木曜日 19:00～21:00 | 頸城中学校 ほか | 月会費 1,000円 | 初心者・中級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 阿部 一則 | 090-4954-9862 | kazunorider-0602@docomo.ne.jp |
| | マルチススポーツ | 34 | ゆらスポ | 小学1年生～中学3年生 | 日曜日 9:00～12:00 ※不定期で土曜日に活動する場合あり | 市内体育施設 ほか | 年会費 1,000円 (保険料込み) | 初心者向け | 随時可 | 山岸 優仁 | 090-1467-7920 | info@tunagari-yuuki.jp |
| | ラグビー | 35 | NPO法人ワセダクラブ北信越支部ラグビースクール | 幼児～中学3年生 | 日曜日 13:00～16:00 | 高田城址公園 陸上競技場 ほか | 年会費 5,500円 月会費 5,000円 | 初心者～上級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 鈴木 順 | 090-9424-8331 | j-bumblebee-speed-specialtes11@docomo.ne.jp |
| | 陸上競技 | 36 | 上越はね馬クラブ | | | | | | | | | |
| 文化芸術 | 吹奏楽 | 1 | 城東吹奏楽クラブ | 城東中学校生徒 | 土曜日 9:00～12:00 | 城東中学校 | — | 中級者向け | — | 今井 量 | 025-522-1168 (上越市立城東中学校) | — |
| | | 2 | 東頸吹奏楽クラブ | 小学4年生～高校3年生 | 土曜日に活動する場合 9:00～12:00 または 13:00～16:00 日曜日に活動する場合 9:00～12:00 | 東頸中学校 | 月会費 2,000円 ※イベントにより臨時徴収の場合あり | 中級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 福井 克利 | 090-1398-1563 | tokeibrass@gmail.com |
| | | 3 | さんスポ すいそうがくクラブ | 中学1年生～高校3年生 | 隔週の日曜日 9:00～12:00 | 三和中学校 ほか | 年会費 中学生2,100円 高校生3,100円 ※保険料込み 月会費 一律 1,100円 | 初心者向け | 随時可(事前に要連絡) | 高橋 守夫 | 025-529-2711 | sanwaspo@chive.ocn.ne.jp |
| | | 4 | 雄志吹奏楽クラブ | 雄志中学校生徒 | 土曜日 8:30～11:30 | 雄志中学校 | — | 初心者・中級者向け | — | 池村 里果 | 025-523-2404 (上越市立雄志中学校) | — |
| | | 5 | 八千浦音楽クラブ | 小学5年生～中学3年生 | 火曜日 14:45～16:45 土曜日 9:00～11:00 | 八千浦中学校 | 年会費 1,000円 | 初心者向け | 随時可(事前に要連絡) | 廣瀬 清彦 | 025-543-2783 (上越市立八千浦中学校) | — |
| | 管弦楽 | 6 | 上越ジュニア音楽クラブ | 小学2年生～中学3年生 | 土曜日または日曜日 月2回 9:30～11:45 | リージョンプラザ上越 ほか | 月会費 3,000円 | 初心者・中級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 長谷川 正規 | 025-530-8013 (綿貫) | joetsu.jmc@gmail.com |
| | 合唱 | 7 | 上越レゾナンスジュニア合唱クラブ | 小学3年生～高校3年生 | 土曜日または日曜日 月2回 9:00～11:00 | リージョンプラザ上越 ほか | 月会費 2,000円 | 初心者・中級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 上野 史子 | — | (公式LINE) ID:@073eljuq |
| | プログラミング・デジタルアート | 8 | bibitクリエイターズラボ | 小学3年生～中学3年生 | 土曜日 9:00～12:00 | bibitコワーキング& クリエイタースクール またはオンライン | 入会金 3,000円 月会費 10,000円 | 初心者～上級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 瀧澤 但 | 050-5526-1234 | info@bibit.cc |
| | ボードゲーム | 9 | あおぞらボードゲームクラブ | 小学1年生～高校3年生 | 月曜日 16:00～18:00 第2・4土曜日 9:00～12:00 | Cafe Kalabar (カフェ カラバル) | 月会費 1,000円 保険料等 1,200円／年 | 初心者向け | 随時可 | 阿部 健志 | 025-526-7191 | aozorabodoge@gmail.com |
| | マーチング | 10 | Marching Band BRAVE (マーチングバンドブレイブ) | 中学1年生～社会人 | 日曜日 13:30～16:30 | 市内体育館または 多目的ホール | 月会費 2,000円 ※その他保険料等4,000円／年 | 初心者・中級者向け | 随時可(事前に要連絡) | 関澤 瑞希 | 080-4808-8204 | jbbh.haneuma@gmail.com |

「部活動改革及び地域クラブ活動の 推進等に関する総合的なガイドライン」

骨子

令和 7 年 1 0 月

スポーツ庁・文化庁

新たなガイドラインの趣旨・全体構成

令和8年度から新たに「改革実行期間」がスタートすることを踏まえ、将来にわたる生徒のスポーツ・文化芸術活動の機会の確保・充実等を図るため、**部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関して、国としての考え方を示すもの**

※公立中学校等が主な対象（「Ⅳ 学校部活動の在り方」については、国立・私立を含めた中学校及び高等学校等が対象）

Ⅰ 部活動改革の基本的な考え方・方向性

- 1 改革の理念 ※地域クラブ活動の在り方はⅡで記載
- 2 取組の類型・名称（地域展開・地域連携）
- 3 改革の方向性
 - （1）基本的方針
 - （2）改革期間及び取組方針（休日・平日）
 - （3）留意事項

Ⅱ 地域クラブ活動の在り方及び認定制度

- 1 地域クラブ活動の在り方
- 2 地域クラブ活動に関する認定制度
 - （1）趣旨
 - （2）想定される認定の効果
 - （3）認定制度の概要（要件・手続等） ※詳細は別冊
 - （4）認定されていない地域クラブ活動の取扱い

Ⅲ 地域展開の円滑な推進に当たっての対応

- 1 推進体制の整備
 - （1）地方公共団体における体制整備
 - （2）国・都道府県・市区町村・地域クラブ活動の運営団体・実施主体の役割分担
 - （3）生徒が所属する中学校等との連携
 - （4）民間企業・大学・関係団体との連携
- 2 各種課題への対応
 - （1）運営団体・実施主体の整備等
 - （2）指導者の確保・育成
 - （3）活動場所の確保
 - （4）活動場所への移動手段の確保
 - （5）生徒の安全安心確保
 - （6）障害のある生徒の活動機会の確保
- 3 生徒のニーズの反映及び地域クラブ活動への参加促進等

Ⅳ 学校部活動の在り方

- 1 適切な運営のための体制整備
 - （1）学校部活動に関する方針の策定等
 - （2）指導・運営に係る体制の構築
- 2 適切な指導・安全安心の確保
- 3 適切な活動時間・休養日の設定
- 4 生徒のニーズを踏まえたスポーツ・文化芸術環境の整備

Ⅴ 大会・コンクールの在り方

- 1 生徒の大会等の参加機会の確保
- 2 大会等への参加の引率や運営に係る体制の整備
 - （1）大会等への参加の引率
 - （2）大会運営への従事
- 3 生徒の安全確保
- 4 全国大会をはじめとする大会等の在り方

Ⅵ 関連する制度の在り方

- 1 教師の兼職兼業
- 2 教師の人事における学校部活動の指導力の評価等
- 3 高等学校入学者選抜における学校部活動・地域クラブ活動の取扱い

別冊資料

地域クラブ活動に関する認定制度（指導者登録制度を含む） など

新たなガイドラインの骨子のポイント

改革の 理念等

- 急激な少子化が進む中でも、**将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実**
- 障害のある生徒や運動が苦手な生徒等を含め、**全ての生徒が希望に応じて多種多様な活動に参加できる環境を整備**
- 地域クラブ活動においては、**学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展**させつつ、地域全体で支えることによる**新たな価値を創出**

【中間評価】

改革期間

令和5年度～7年度
「改革推進期間」



令和8年度～10年度
「改革実行期間」 **（前期）**

令和11年度～13年度
「改革実行期間」 **（後期）**

取組方針

休日

改革実行期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す
※現時点で着手していない地方公共団体においても、**前期の間に確実に休日の地域展開等に着手**
（中山間地域や離島等で地域展開が困難な場合には、当面、部活動指導員の配置等を推進）

平日

各種課題を解決しつつ、更なる改革を推進（まずは、国において実現可能な活動の在り方等を検証）

※学校部活動をベースとした地域との連携など、**地域の実情等に応じた多様な改革を進めていくことが重要**

認定制度

競技力向上を主目的としたチームやスクール等との区別や質の担保等のため、**国が定めた要件等に基づき、市町村等が地域クラブ活動の認定を行う仕組み**を構築

【呼称】「認定地域クラブ活動」 **【想定される認定の効果】** 公的支援（財政支援、学校施設の優先利用等）、大会・コンクールへの円滑な参加等
【主な要件】 活動時間（平日は1日2h程度以内、休日は1日3h程度以内） / 休養日（週2日以上、休日のみ活動の場合は土日どちらか） / 低廉な参加費 / 指導体制（日本版DBS活用を含めた不適切行為の防止徹底、指導者研修・登録等） / 安全確保 / 学校等との連携

地域展開 の円滑な 推進に当 たつての 対応

推進体制

国としての取組方針の提示・地方公共団体への支援・周知広報等 / 都道府県のリーダーシップ / 市区町村が改革の責任主体 / 専門部署の設置・コーディネーターの配置 / 生徒が所属する中学校等との連携 / 民間企業・大学・関係団体等との連携等

各種課題
への対応

①運営団体・実施主体の体制整備等 ②指導者の確保・育成 ③活動場所の確保(学校施設の有効活用等)
④移動手段の確保 ⑤生徒の安全確保 ⑥障害のある生徒の活動機会の確保 ※6項目について具体的な取組内容等を整理

ニーズ反映
・参加促進等

生徒等のニーズの把握・反映 / 地域クラブ活動への参加促進のための情報提供等（体験会の開催、入学説明会等でのオリエンテーション、ポータルサイトなどによる一元的な情報提供等） / 生徒のクラブ運営等への参画（生徒同士の話し合いなど）

部活動の 在り方

- 適切な運営のための体制整備（部活動に係る方針策定、部活動指導員等の配置や合同部活動の実施、勤務時間管理・業務改善等）
- 適切な指導・安全安心の確保（暴力・暴言・ハラスメント・いじめ等の不適切行為の根絶、事案発生時の迅速な対応・再発防止、過度な練習等の防止等）
- 適切な活動時間・休養日の設定 ● 生徒のニーズを踏まえたスポーツ・文化芸術環境の整備

大会等の 在り方

- 生徒の参加機会確保（地域クラブ活動等の参加促進等） ● 大会への引率や運営に係る体制整備（教師以外の関係者の参画促進等）
- 生徒の安全確保（熱中症対策等） ● 大会等の在り方の見直し（多様なニーズを踏まえた大会の開催等）

関連制度

希望する教師の兼職兼業の円滑化（中学校教師だけでなく小学校教師（体育専科等）や高校・特別支援学校の教師等を含む）、教師の人事・採用での部活動指導力の評価における留意、高校入試における取扱いなど

1 改革の理念

- 急激な少子化が進む中でも、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実
- 学校単位で部活動として行われてきたスポーツ・文化芸術活動を、地域全体で関係者が連携して支え、生徒の豊かで幅広い活動機会を保障
- 障害のある生徒や運動が苦手な生徒等を含め、全ての生徒がそれぞれの希望に応じて多種多様な活動に参加できる環境を整備

2 取組の類型・名称

| | |
|------|--|
| 地域展開 | <u>生徒のスポーツ・文化芸術活動を学校部活動から地域クラブ活動に展開すること</u> ※①学校内で運営されてきた活動を広く地域に開き、地域全体で支える、②新たな価値を創出し、より豊かで幅広い活動を可能とするという改革の理念等をよりの確に表すため、従来の「地域移行」という名称を、「地域展開」に変更 |
| 地域連携 | 学校部活動において部活動指導員等の配置や合同部活動等を実施すること |

3 改革の方向性

| | |
|-------|--|
| 基本的方針 | <ul style="list-style-type: none">・市町村等が改革の責任主体となり、幅広い関係者の理解と協力の下、<u>平日・休日を通した活動を包括的に企画・調整し、多様な選択肢の中から地域の実情等にあった望ましい在り方を見出し、改革の方針を決定することが重要</u>・都道府県においては、広域自治体として改革に向けたリーダーシップを発揮し、<u>市区町村に対するきめ細かな支援や地域展開等に向けた広域的な基盤づくりを実施することが重要</u>・国においては、改革の進捗状況等を定期的にフォローアップし、その結果に基づき、必要な措置を検討 |
| 改革期間 | 「改革実行期間」（前期：令和8年度～10年度 ⇒ 中間評価 ⇒ 後期：令和11年度～13年度） |
| 取組方針 | 休日：改革実行期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す（できるだけ前倒しでの実現が望ましい） ※中山間地域や離島など特殊な事情により地域展開が困難な場合等には、当面、部活動指導員の配置等を推進 ※現時点で着手していない地方公共団体においても、前期の間に確実に休日の地域展開等に着手 |
| | 平日：各種課題を解決しつつ更なる改革を推進（まずは、国において、地方公共団体が実現可能な活動の在り方や課題への対応策の検証等を行うとともに、地方公共団体において地域の実情等に応じた取組を進める） ※前期において活動の在り方や課題への対応策等の検証を行った上で、中間評価の段階で改めて取組方針を定め、更なる改革を推進 |
| 留意事項 | <ul style="list-style-type: none">・地域ごとに部活動を取り巻く状況や地域資源の状況等が異なるため、学校部活動をベースとした地域との連携や、学校施設を拠点とした地域クラブ活動の実施など、<u>地域の実情等に応じた多様な改革を進めていくことが重要</u>・地理的要因や指導者不足といった事情、地方公共団体の財政事情等に関わらず、<u>全国的に必要な改革を進められるようにすることが重要であり、デジタル技術の効果的な活用、国・都道府県・市区町村の支え合いによる公的支援や国によるきめ細かな伴走支援等が必要</u>・この改革は、生徒の活動機会の確保・充実のみならず、<u>大人も含めた人々のウェルビーイング向上、地域社会の維持・活性化、健康長寿社会の実現など、多面的な効果が期待されるものであり、幅広い関係者が、そうした認識を共有しつつ一丸となって取組を進めることが重要</u> |

1 地域クラブ活動の在り方

- 地域クラブ活動においては、学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、地域全体で支えることによる新たな価値を創出することが重要
＜新たな価値の例＞
①生徒のニーズに応じた多種多様な体験（1つの競技種目等に専念しないマルチスポーツや、スポーツと文化芸術の融合、レクリエーション的な活動等を含む）、②生徒の個性・得意分野等の尊重、③学校等の垣根を越えた仲間とのつながり創出、④地域の様々な人や幅広い世代との豊かな交流、⑤適切な指導者による良質な指導、⑥学校段階にとらわれない継続的な活動（引退のない継続的な活動）及び地域クラブ活動の指導者による一貫的な指導
- 地域クラブ活動の具体的な実施形態や活動内容等は多様な形があり得る。地域の実情等に応じた適切な実施形態等で実施することが重要
※地域クラブ活動は、競技性や成果のみに偏重するのではなく、生徒が生涯にわたってスポーツや文化芸術を楽しむために必要な資質・能力等を育てることを目指すもの

2 地域クラブ活動に関する認定制度 ※詳細は別冊資料を参照

(1) 趣旨

部活動の地域展開により実施される「地域クラブ活動」について、競技力向上を主目的としたチームやスクール等との区別や質の担保等の観点から、国が本ガイドライン（別冊資料）により示す要件及び認定手続等に基づき、市町村等において認定を行う（認定された活動については「認定地域クラブ活動」と呼称） ※当該要件に沿って、市町村等が自ら運営する地域クラブ活動については、認定したものとみなす

(2) 想定される認定の効果

- ①生徒・保護者等に対する市町村等による情報提供 ②地域クラブ活動の運営等への公的支援（財政支援、学校施設等の優先利用・使用料減免等）
- ③希望する教職員の兼職兼業の許可 ④大会・コンクールへの円滑な参加（交通費・宿泊費の支援、スクールバスの活用、大会参加規程の見直し） など

(3) 認定制度の概要（要件・手続等） ※認定要件の具体的な確認事項等は別冊資料を参照

| | |
|-----|---|
| 要件 | ①学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させた活動であり、生徒が身近な地域で希望する活動に主体的に参加できるようにすることで、豊かで幅広い活動機会の保障に寄与するものであること（ <u>選抜等の不実施、障害のある生徒や運動が苦手な生徒等を含めた参加環境整備等を含む</u> ） / ②適切な活動時間や休養日が設定されていること / ③活動の維持・運営に必要な範囲で、可能な限り低廉な参加費等が設定されていること / ④適切な指導の実施体制が確保されていること（日本版DBSの活用を含めた不適切行為の防止徹底等） ⑤適切な安全確保の体制が確保されていること / ⑥適切な運営体制が確保されていること / ⑦学校等との連携が適切に行われていること ※円滑な実施の観点から、一部の要件については、一定の経過措置を設定（原則として令和8年度末まで） |
| 手続等 | ・地域クラブ活動の運営団体が、各実施主体の申請書等を取りまとめて市町村等に提出。市町村等は、申請書等に基づき、必要に応じてヒアリングや現地確認等を行いつつ審査の上、認定を実施（認定後も、適切に指導助言等や不正があった場合等の認定取消しを実施） ・認定の有効期間は最長3年間の範囲内で市町村等において設定 |

(4) 認定されていない地域クラブ活動の取扱い

認定されていない地域クラブ活動についても、地域クラブ活動の在り方を踏まえつつ、認定要件に準じて活動を実施することが求められる（特に、休養日・活動時間の設定や、暴言・暴力・ハラスメント等の防止、生徒の安全確保については、適切な対応を徹底）

1 推進体制の整備

(1) 地方公共団体における体制整備

- 地方公共団体において、教育、スポーツ、文化、福祉、まちづくり、財政等を担当する様々な部署が一体となって取組を進めていくことが重要
- 専門部署の設置や総括コーディネーターの配置等、適切な推進体制を整備することが重要

(2) 国・都道府県・市区町村・地域クラブ活動の運営団体・実施主体の役割分担

| | |
|-----------|---|
| 国 | ・地域展開等の推進に向けた <u>全国的な取組方針等</u> を示すとともに、 <u>好事例の収集・普及</u> や、 <u>地方公共団体に対するきめ細かな支援等</u> を実施 ・ <u>周知・広報</u> や <u>民間企業・大学・関係団体等との連携体制構築等</u> を通じて、 <u>関係者の理解促進・改革に向けた機運醸成等</u> を実施 |
| 都道府県 | ・ <u>広域自治体として改革に向けたリーダーシップ</u> を発揮し、都道府県全体の改革方針を示すとともに、 <u>市区町村に対してきめ細かに支援</u> ・一つの市区町村では対応が難しく、広域での実施がより効果的・効率的な取組を中心に、 <u>地域展開等に向けた広域的な基盤づくり</u> を実施 |
| 市区町村 | ・ <u>改革の責任主体として</u> 、幅広い関係者との連携・協働の下、地域展開等の円滑な実施に向けて <u>包括的な企画・調整</u> を実施 ・特に、 <u>地域クラブ活動の位置付け</u> （学校部活動が担ってきた意義の継承・発展＋新たな価値の創出）を十分に踏まえ、 <u>豊かで幅広い活動が実現されるよう</u> 、運営団体等への支援や指導助言等を丁寧に実施 |
| 運営団体・実施主体 | ・「 <u>運営団体</u> 」は、各地域クラブ活動（実施主体）を統括し、運営・管理業務の中核部分を実施。「 <u>実施主体</u> 」は、運営団体の統括の下、個別の地域クラブ活動を実施 ※運営団体と実施主体の <u>役割分担の在り方</u> は多様であり、柔軟に <u>連携・協力</u> を行うことが重要 |

(3) 地域クラブ活動の運営団体・実施主体による生徒が所属する中学校等との連携

- 地域クラブ活動の活動方針・活動状況等を適切に中学校等に共有すること。特に、生徒が平日に学校部活動、休日に地域クラブ活動に参加する場合には、指導の一貫性を確保する観点から緊密な連携を図ること
- 地域クラブ活動での学校施設の活用や希望する教師の兼職兼業等を円滑に行うため、中学校等と必要な連絡調整等を行うこと
- 地域クラブ活動への参加促進等のため、小学校や中学校等と連携しつつ、生徒・保護者にきめ細かな情報提供等を行うこと

(4) 民間企業・大学・関係団体等との連携

改革を円滑に進めるためには、地方公共団体が、民間企業、大学、幅広い関係団体等（総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、体育・スポーツ協会、競技団体、文化芸術団体、文化協会、社会教育施設、民間企業、大学、地域の中学校体育連盟、中学校文化連盟、スポーツ推進委員等）と連携・協働しながら、一体となって取り組むことが重要

【期待される主な役割】

| | |
|-------|--|
| 民間企業 | 財政的支援、指導者の派遣、施設の貸出し、用具・物品等の提供、運営・管理等に関するノウハウやトレーニングプログラムなどの提供 |
| 大学 | 指導者研修会の実施、大学生指導者の派遣、指導の単位認定、大学施設の貸出し、大学施設を拠点とした集合型の地域クラブ活動の実施 |
| 関係団体等 | 指導者研修会の実施、各競技種目等に関する指導の手引きの作成・普及、専門的指導者の派遣、活動プログラムや自主練習用動画教材等の提供、施設の貸出し、用具・物品等の提供、大会運営等への参画や新たな大会の開催、体験会・イベントの開催 |

2 各種課題への対応

(1) 運営団体・実施主体の整備等

- 運営に関するサポート体制の整備、運営を担うマネジメント人材の確保・育成
- 組織体制・財政基盤の整備（スポーツ団体ガバナンスコードへの準拠を含む）
- ICT活用による運営業務の効率化 等

(3) 活動場所の確保

- 学校施設等の有効活用（地方公共団体等による協力等）
- 認定を受けた地域クラブ活動の優先利用・使用料減免等
- 活動場所の管理運営の効率化等（ICT活用、鍵の受渡しの負担軽減、指定管理者制度等の活用、学校施設の複合化等） 等

(5) 生徒の安全安心確保

- 事故、暴力・暴言等の不適切行為やいじめの防止（指導者・保護者・生徒等への研修等、組織的な体制整備、相談窓口の活用促進等）
- 事故や不適切行為が発生した場合の責任の所在の明確化
- 生徒及び指導者の保険への加入（傷害保険＋賠償責任保険） 等

(2) 指導者の確保・育成

- 多様な人材の発掘・マッチング・配置（人材バンクの設置・運用、大学生の活用促進、希望する教職員の兼職兼業等）
- 適切な資質・能力の保障、人材育成（研修会開催、公認指導者資格の取得促進、指導の手引き作成、適切な処遇の確保等） 等

(4) 活動場所への移動手段の確保

- 既存車両の有効活用（スクールバスやスポーツ団体のマイクロバス等）
- 地域公共交通との連携等（運行ダイヤの見直し検討、利用料への補助、AIオンデマンド交通や公共ライドシェアの活用等）
- 多様な政策分野との連携・協働等（介護・福祉・医療等） 等

(6) 障害のある生徒の活動機会の確保

- 多様な地域の関係者の参画（障害者スポーツセンター、地域のパラスポーツ協会、放課後等デイサービス実施事業者等）
- 新たなスポーツ・文化芸術活動の機会の提供
- 障害者対応指導ツール等を活用した指導者の資質・能力の向上 等

3 生徒のニーズの反映及び地域クラブ活動への参加促進等

地域展開に当たっては、主役・当事者となる生徒を第一に考え、以下の取組等を通じて、生徒のニーズに合った地域クラブ活動の構築や参加促進等を行うことが重要

| | |
|-------------------------|---|
| ①生徒等のニーズの把握・反映 | アンケート調査及びその結果に基づく活動の構築、生徒同士で取り組みたい活動等について議論するワークショップの開催 |
| ②地域クラブ活動への参加促進のための情報提供等 | 小学校高学年や中学生を対象とした体験会の開催、中学校の入学説明会等の機会を活用したオリエンテーションの開催、ポータルサイトやアプリなどによる地域クラブ活動に関する一元的な情報提供、地域の行事等における発表会等の機会 |
| ③生徒のクラブ運営等への参画 | 生徒同士による活動目標等の話し合い、生徒による新入生や小学生向け体験イベントや説明会等の運営、生徒が中学校卒業後もクラブ活動に参加したり、将来的にクラブ運営等に関わる仕組みの構築 |

1 適切な運営のための体制整備

(1) 学校部活動に関する方針の策定等

- 都道府県、学校の設置者、校長は、それぞれ、本ガイドライン等に則り、適切な活動時間・休養日の設定を含めた学校部活動に関する方針を策定
- 校長は、これまでと同様、活動方針、活動計画及び活動実績をHPなどで公表するとともに、随時、活動時間・休養日の遵守状況等を確認

(2) 指導・運営に係る体制の構築

- 部活動指導員等を適切に配置するとともに、生徒数や部活動指導員等の配置状況等を踏まえ、部活動数の合理化等を実施（学校の実情等に応じて、マルチスポーツ部や総合文化部等としての集約や、複数校での合同部活動の実施等についても検討）
- 部活動指導員は、生徒への日常的な指導だけでなく、大会引率や部活動の管理運営、保護者への連絡等を含め、幅広い役割を担うこと
- 教師を部活動顧問とする場合には、他の校務分掌や本人の抱える事情等を勘案した上で、部活動開始・終了時刻の繰上げ等活動時間を教師の勤務時間内で適切に設定するなどの工夫を行い、教師の負担が過度とならないよう十分に留意
- 学校設置者は、文部科学大臣が定める業務量管理・健康確保措置に関する指針に基づき、個々の教師の時間外在校等時間の状況にも留意しつつ、適切に勤務時間管理や業務改善等を実施

2 適切な指導・安全安心の確保

(1) 暴力・暴言・ハラスメント・いじめ等の不適切行為の根絶

- 指導者・保護者・生徒等への研修等の推進による共通理解の向上、適切な生徒集団づくり、開かれた環境の整備等により、不適切行為の未然防止を徹底
- 事案発生時における迅速な対応及び再発防止の徹底（生徒のケアを最優先、個々の指導者任せにしない組織的な対応等）

(2) 合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進

スポーツ医・科学の見地や生徒のバランスのとれた生活の確保の観点等を踏まえ、過度な練習等の防止、効率的・効果的な活動の導入等を推進

(3) 競技ごとの指導手引の普及・活用

中央競技団体等が作成した競技ごとの指導手引（練習メニュー、活動スケジュール、効果的な練習方法、安全面の注意事項等）の普及・活用を促進

3 適切な活動時間・休養日の設定

【活動時間】平日は1日2h程度以内、休日は1日3h程度以内 【休養日】週2日以上 【その他】長期休業中のオフシーズンの設定

4 生徒のニーズを踏まえたスポーツ・文化芸術環境の整備

- 性別や障害の有無、得手不得手等を問わず、生徒のニーズを踏まえた活動環境を整備（マルチスポーツ、スポーツと文化の融合、レクリエーション活動等を含む）
- 部活動は、全ての生徒が一律に加入すべきものではなく、あくまで生徒の自主的・自発的な参加により行われるものであることに留意すること

※公立中学校等については休日を中心に地域展開を進めているところ、本章では、地域展開が進むまでの間における休日の部活動等や地域の実情等に応じて対応が異なる平日の部活動の在り方を定めるほか、国立・私立の中学校及び高等学校等の部活動の在り方を定める

1 生徒の大会等の参加機会の確保

- 大会参加資格を学校単位に限定することなく、地域クラブ活動や複数校合同チーム等の参加を更に促進。特に、認定地域クラブ活動については、国の定める要件に基づき、市町村等が認定した公的な活動であり、全国的に円滑な参加に向けた環境を確保する必要
※いわゆる県またぎ・市町村またぎの場合（生徒の所属校と参加する地域クラブ活動が別の都道府県・市町村にある場合）も大会参加が可能となるよう留意
- 大会開催地までの交通費・宿泊費の支援等について、都道府県・市区町村等において学校部活動の参加生徒に対して支援を実施している場合は、地域クラブ活動の参加生徒に対しても同様に支援を実施
- 平日の大会等に参加する生徒の学校の出席・欠席の取扱いを整理（地域クラブ活動から大会等に参加する場合も出席扱いとできることを国として明確化）

2 大会等への参加の引率や運営に係る体制の整備

（1）大会等への参加の引率

- 学校部活動における大会等の引率は、部活動指導員や校長が認める外部指導者など、教師以外の者が担うことを原則としつつ、教師が引率を行う場合には、週休日の振替等を適切に実施するなど、教師の負担が過度とならないよう配慮。地域クラブ活動における大会等の引率は、原則として、地域クラブ活動の指導者等が担う
- 上記の対応を促進するため、都道府県・市区町村・大会主催者等において、規程の見直しなどを適切に実施

（2）大会運営への従事

- 大会の運営について、主催団体の職員による運営や外部委託などにより教師に過度な負担をかけない適切な体制を整えとともに、地域クラブ活動関係者や保護者、ボランティア等の参画を促進。併せて、大会主催者等において、持続可能で効率的な運営の在り方を検討
- 大会運営の従事者に対して、教育委員会や地域クラブ活動の運営団体等が適切な服務監督・勤務管理を実施

3 生徒の安全確保

生徒の発達段階や気温・湿度・暑さ指数（WBGT）等の環境を踏まえ、生徒の安全面を最優先に考え、適切な開催時期・場所の設定、運営上の工夫等を実施

4 全国大会をはじめとする大会等の在り方

- 発育・発達期にある生徒や保護者等の心身の負担が過重とならないよう、大会主催者間で連携しつつ、大会の在り方を見直し
- 生徒間の交流を主目的とした大会や、競技性に捉われず楽しむことに重点を置いた大会、障害の有無等に関わらず誰もが参加しやすい大会など、多様なニーズを踏まえた大会を開催するとともに、生徒の参加機会の拡大等に資するよう、リーグ戦の導入などの工夫を実施

1 教師の兼職兼業

- 希望する学校の教師等が地域クラブ活動の指導者として活動できるよう、「公立学校の教師等が地域クラブ活動に従事する場合の兼職兼業について（手引き）」（令和5年1月 文部科学省）等を参照しながら、兼職兼業の許可の手續の円滑化を図る必要。特に、認定地域クラブ活動については、国の定める要件に基づき、市町村等が認定した公的な活動であり、学校運営に支障がない限り、積極的に許可を行う必要
※国において関係規程等のひな型を作成予定
- 中学校の教師だけでなく、小学校の教師（体育専科教員を含む）、さらには、高等学校・特別支援学校の教師、事務職員など幅広い者が、その希望に応じて、円滑に兼職兼業を行うことが出来る環境を整備することが重要
- 兼職兼業の許可をする際には、教師等の本人の意思を尊重し、指導を望んでいないにもかかわらず参加を強いられることがないよう十分に確認するとともに、勤務校等における業務への影響の有無、教師等の健康への配慮など、学校運営に支障がないことの確認等を適切に実施
- 兼職兼業を行う教師等については、教師等の身分としての服務監督を行う教育委員会等と、地域クラブ活動の指導者の身分としての勤務管理を行う運営団体等が連携して、勤務時間等の全体管理を行うなど適切な労務管理を実施

2 教師の人事・採用における学校部活動の指導力の評価等

- 都道府県の教育委員会等においては、部活動指導は教師の本来的業務ではなく、教師以外が積極的に参画すべき業務であることを踏まえ、教師の採用や人事配置において部活動指導に係る能力や意欲、実績等を過度に評価することのないよう十分に留意すること
- また、初任者研修等に十分な時間を確保することが求められる新規採用の教師や、育児や介護等の事情を抱える教師に配慮する観点から、部活動指導に関する取扱いを明確化すること

3 高等学校入学者選抜における学校部活動・地域クラブ活動の取扱い

- 学校部活動と地域クラブ活動で、入学者選抜における取扱いに差異が生じることのないよう十分に留意すること
- 学校部活動・地域クラブ活動の評価の有無・方法・観点等については、入学者選抜実施要領や各高等学校のHPなどにおいて分かりやすく示すこと
- 学校部活動・地域クラブ活動に参加していないことや、途中で退部したこと、他の活動に移ったことなどのみをもって不利に取り扱うことは適切でないこと
- 調査書の記載に当たっては、活動歴や大会成績だけでなく、活動からうかがうことのできる生徒の長所、個性や意欲、能力に言及するなど、記載を工夫することが望ましいと考えられること。こうした生徒の長所等については、生徒による自己評価資料や、面接や小論文などの方法を用い、入試全体を通じて多面的に評価していくことも考えられること

※学習指導要領における取扱いについては、実行会議の最終とりまとめの内容も踏まえつつ、今後、スポーツ庁及び文化庁において更なる検討・具体化を進めた上で、中央教育審議会に報告予定

「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」 別冊資料（地域クラブ活動に関する認定制度（イメージ案））

令和7年10月 スポーツ庁・文化庁

1. 定義・呼称

- スポーツ庁・文化庁が示した認定要件及び認定手続等に基づき、対象となる公立の中学校（義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程を含む。）及び特別支援学校中学部（以下「中学校等」という。）を設置する市町村（特別区及び一部事務組合を含む。以下同じ。）及び都道府県（以下「市町村等」という。）が、中学校等の部活動を継承・発展させた生徒のスポーツ・文化芸術活動として認定した活動を「認定地域クラブ活動」という。
- 市町村等が自ら運営団体・実施主体^{※1}となり、スポーツ庁・文化庁が示した認定要件に沿って地域クラブ活動を実施する場合（市町村等が事業者等に委託して地域クラブ活動を実施する場合も含む。）には、当該地域クラブ活動は、認定を受けたものとみなし、これも「認定地域クラブ活動」と呼ぶこととする。

※1 各地域クラブ活動を統括する団体を「運営団体」、個別の地域クラブ活動を実際に行う団体を「実施主体」という。以下同じ。

2. 認定要件（具体的な確認事項は、別紙1参照）

- ① 学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させた活動であり、生徒が身近な地域で希望する活動に主体的に参加できるようにすることで、豊かで幅広い活動機会の保障に寄与するものであること
- ② ガイドラインに沿った適切な活動時間や休養日が設定されていること
- ③ 活動の維持・運営に必要な範囲で、可能な限り低廉な参加費等が設定されていること
- ④ 適切な指導の実施体制が確保されていること
- ⑤ 適切な安全確保の体制が確保されていること
- ⑥ 適切な運営体制が確保されていること
- ⑦ 学校等との連携が適切に行われていること

3. 認定手続等

(1) 認定に当たっての留意事項

- 市町村等は、平日・休日を通した活動を包括的に企画・調整した上で、部活動の地域展開の方針を示す推進計画等を策定する。
- 推進計画等の策定に当たっては、市町村等が、公立の中学校等の生徒数や生徒のニーズ、活動場所となる施設の状況等の地域の実情を踏まえ、認定する地域クラブ活動の数や競技種目等を定めるとともに、以下の観点等を考慮し、各地域クラブ活動の参加対象となる生徒の居住する対象区域を定める。
 - ・ 地域の子供たちは地域で育てるという意識の下で地域の関係者が連携して活動を支えること
 - ・ 生徒の在籍する中学校等との連携を図ること
 - ・ 活動場所への移動に過度な負担が生じないように配慮すること
 - ・ 充実した活動とするために競技種目等に応じて過多・過少な人数とならないよう適切な参加人数の規模にすること
- 対象区域は、中学校区単位で加入する地域クラブ活動が明確になるように、例えば、単一の中学校区、複数の中学校区、当該市町村の一部などとする考えられる。また、ガイドラインで示す部活動改革の理念や基本的な考え方等を踏まえ、例えば、十分な参加人数を見込めない場合や生徒のニーズに応じた多種多様な体験の機会を提供する活動^{※1}の場合等には当該市町村の全域を対象区域として定めることや、複数の市町村が広域連携の取組を進め、複数の市町村を対象区域として定めるなど柔軟に対象区域を定めることも考えられる^{※2}。
- 市町村等は、推進計画等に基づき、2.「認定要件」を満たすスポーツ・文化芸術活動を認定する。なお、各認定要件を満たしているか否かについては、市町村等が、別紙1の具体的な確認事項を踏まえ判断する。その際、2.「認定要件」は、個別の地域クラブ活動に関する事項（活動目的・理念、活動時間・休養日、参加費等）や地域クラブ活動を実施する団体の体制に関する事項（指導体制、安全確保、運営体制、学校等との連携）を定めていることから、原則として、地域クラブ活動の実施主体を審査対象として判断する。ただし、運営団体と実施主体が担っている役割^{※3}は、地域の実情に応じて多様な実態があることから、必要に応じて、運営団体・実施主体を全体として評価し、審査対象として判断する（以下、審査対象は、「地域クラブ活動の実施主体等」という）。

- 市町村等が、地域の実情に応じて、2.「認定要件」に加えて独自の要件を設けることは妨げないが、地域クラブ活動の多様な実態を踏まえ、生徒の活動機会が十分に確保されるよう留意すること。
- 都道府県は、市町村又は一部事務組合に対して、地域クラブ活動に関する認定制度が当該都道府県において円滑に整備・運用されるように、必要な指導助言を行うとともに、複数の市町村による広域連携の取組が必要な場合には、市町村同士の協議の場を設けるなど、必要な支援を行う。

※1 一つの競技種目等だけに専念するのではなく複数の競技種目等に取り組むマルチスポーツや、一つのクラブにおける多様な文化芸術活動の実施、スポーツと文化芸術の融合、レクリエーション的な活動や柔軟なルール等に基づく多様な活動等が考えられる。

※2 各競技種目等への参加人数の見込みを踏まえて、各競技種目等に応じた対象区域を定めることも考えられる。また、複数の市町村が広域連携の取組を進め、複数の市町村を対象区域として定める場合、地域の実情によっては、隣接する他の都道府県の市町村と広域連携の取組を行うことも考えられる。

※3 一つの団体（体育・スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブ等）が運営団体と実施主体の両者の役割を兼ね備える場合も多いところ、そうした場合には、運営団体は管理部門、実施主体は実施部門をそれぞれ担う団体内の部署・機能として捉えられる。運営団体、実施主体、地域クラブ活動の役割分担や相互の関係性については、ガイドラインを参照。

（２）認定手続

- 認定の申請は、地域クラブ活動の運営団体※¹が各実施主体の申請をとりまとめて、市町村等に対し、申請書、活動計画書、規約、誓約書、その他地方公共団体が必要と認める書類等（以下「申請書等」という。）※²を提出することにより行う。
- 認定の申請の際に提出を求める誓約書において、地域クラブ活動の実施主体等が、申請書等に記載した内容に沿って活動を実施すること、申請内容のうち認定に係る事項に変更が生じた場合は速やかに報告すること、市町村等からの指導助言等に対して真摯に対応することを誓約する項目を設ける。

○ 市町村等は、提出された申請書等に基づき、必要に応じてヒアリングや現地確認等を行いつつ審査を行い、上記２．「認定要件」を満たすものと認める場合には認定を行う。認定に当たっては、必要に応じて、ガイドラインに基づき設置した協議会等の意見を聴くことも考えられる。

○ なお、活動の開始に先立って認定を行う必要が生じることも想定されることから、申請書等に基づき、条件付きでの認定（以下「仮認定」という。以下同じ。）を行い、活動開始後、一定期間内に活動状況の報告書の提出やヒアリング、現地確認等により、申請書等に記載された内容が適切に履行されていることを確認するなどの対応も可能とする^{※３}。

※１ 市町村等が運営団体の場合には、実施主体が直接市町村等に対して申請書等を提出する。なお、上記のとおり、市町村等が運営団体・実施主体の双方を兼ねる場合には、その地域クラブ活動は認定を受けたものとみなすこととしている。

※２ 国において、申請書等のひな型などを示す予定。

※３ 申請書等に記載された内容が適切に履行されていることが確認された場合には、仮認定が正式な認定となる。

（３）認定の有効期間

○ 認定の有効期間は、最長３年間（認定の効力の発生日の属する年度の翌々年度末（認定の有効期間の更新がされた場合にあつては、従前の認定の有効期間の満了の日の翌日の属する年度の翌々年度末））の範囲内で、地域の実情に応じて市町村等において設定する。

（４）指導助言等

- 市町村等は、定期的な報告書の受領やヒアリング、現地確認等により、認定地域クラブ活動の取組状況等を適宜把握し、誓約書に基づき、必要な指導助言等を行う。
- 市町村等は、認定地域クラブ活動が以下に該当する場合は、その実施主体等に対し、必要な指導助言等を行う。
 - ・ 上記２．「認定要件」を欠くに至ったと認めるとき
 - ・ 法令又は規約等に違反していると認めるとき
 - ・ 運営が著しく適正を欠くと認めるとき
- 市町村等は、認定地域クラブ活動が次のいずれかに該当するときは、認定を取り消す。
 - ・ 不正な手段等により認定を受けたとき
 - ・ 指導助言等によっても、その改善を期待することができないとき
 - ・ 地域クラブ活動の実施主体等から認定取消の申出があったとき

（５）経過措置

- 部活動の地域展開に新たに取り組む市町村等のほか、独自に地域クラブ活動の認定や指定等の仕組みを整備・運用している市町村等においても、スポーツ庁・文化庁が示した認定要件及び認定手続等に沿った地域クラブ活動の認定制度の導入や準備等に当たり、特に、上記２．「認定要件」の④「適切な指導の実施体制が確保されていること」及び⑥「適切な運営体制が確保されていること」などについては、地域クラブ活動が所定の要件を満たすのに一定の期間を要すると考えられることから、市町村等が、当該地域クラブ活動の実施主体等に対して適切な指導助言等を行うことにより、原則として、令和８年度末まで※^１に限り、当該地域クラブ活動は、認定を受けたものとみなすことも可能とする。

※１ 例えば、部活動の地域展開に新たに取り組む市町村等において課題の検証等のために試行的に実施する場合など、特別な事情がある場合は、改革実行期間の前期が終了する令和１０年度末まで、認定を受けたものとみなすことも可能とする。

4. 認定地域クラブ活動において期待される取組・体制等

- 学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、次のような新たな価値の創出に向けた取組を行うことが期待される。
 - ・ 生徒のニーズに応じた多種多様な体験（一つの競技種目等だけに専念するのではなく複数の競技種目等に取り組むマルチスポーツや、一つのクラブにおける多様な文化芸術活動の実施、スポーツと文化芸術の融合、レクリエーション的な活動や柔軟なルール等に基づく多様な活動を含む）
 - ・ 生徒の個性・得意分野等の尊重
 - ・ 学校等の垣根を越えた仲間とのつながり創出
 - ・ 地域の様々な人や幅広い世代との豊かな交流
 - ・ 適切な資質・能力を備えた指導者による良質な指導
 - ・ 学校段階にとらわれない継続的な活動（引退のない継続的な活動）及び地域クラブ活動の指導者による一貫的な指導

- 団体としての賠償責任保険の加入対象が法人となっていることが多いことに加え、組織としての責任の明確化やガバナンスの確保の観点から、特定非営利活動法人や一般・公益社団法人、一般・公益財団法人等の法人格を有する運営団体※¹が実施主体を統括する体制で運営することが期待される。

※1 さらに、市町村等とパートナーシップを構築し、公益的な事業体としての役割を果たしていくために、活動実態や運営実態、ガバナンス等の要件を満たし、地域クラブ活動の運営団体を担っている団体を認証する日本スポーツ協会「総合型地域スポーツクラブ認証制度（部活動の地域展開タイプ）」において認証を受けた法人格を有する総合型地域スポーツクラブが運営団体として実施主体を統括する体制で運営することも考えられる。

5. 想定される認定の効果（認定地域クラブ活動が享受できるメリット）

○ 地域クラブ活動に関する認定制度を設けることにより、安全・安心な活動機会の提供や生徒・保護者等の関係者の理解促進等を図るとともに、認定地域クラブ活動に対して、次の取組を促進する※¹。

① 市町村等による生徒・保護者等への情報提供

- ・ 地域クラブ活動への参加促進のための学校と連携した生徒・保護者等に対するきめ細かな情報提供等※²（小学校高学年時の体験会、中学校等入学時のオリエンテーション、アプリなどによる地域クラブ活動の実施状況等の情報提供等）

② 地域クラブ活動の運営等への公的支援

- ・ 受益者負担と公的負担とのバランス等の費用負担の在り方を踏まえた財政支援（経済的困窮世帯の生徒への支援を含む。）
- ・ 学校施設、公共スポーツ施設、社会教育施設等の優先利用、使用料の減免等
- ・ 学校備品等の活用、用具の保管スペースの確保

③ 教師等の兼職兼業

- ・ 地域クラブ活動への従事を希望する教師等の兼職兼業の許可の対象

④ 生徒の大会・コンクールへの円滑な参加

- ・ 地方公共団体における大会開催地までの交通費・宿泊費の支援やスクールバスの活用（学校部活動参加生徒と同様に支援）
- ・ 認定地域クラブ活動の参加者の中学校体育連盟の主催大会等への円滑な参加（必要に応じた大会参加規程の見直し（引率者の資格要件等を含む。））

※¹ 地域の実情等に応じた、生徒の多様な選択肢を確保する観点から、上記①市町村等による生徒・保護者等への情報提供を中心に支援する場合には、市町村等がガイドラインに沿った活動とすることを担保した上で独自に緩やかな要件を満たした活動を登録する仕組みなどを別途設けることも妨げない。

※² 情報提供等の際に、認定地域クラブ活動については、例えば、「〇〇市認定地域クラブ活動」と表記することが考えられる。

地域クラブ活動に関する認定制度（イメージ案）における 「２．認定要件」の具体的な確認事項

①学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させた活動であり、生徒が身近な地域で希望する活動に主体的に参加できるようにすることで、豊かで幅広い活動機会の保障に寄与するものであること

<確認事項>

- 生徒^{※１}の自主的・主体的な参加による活動^{※２}であり、競技性や成果のみに偏重するのではなく、生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保し、生涯にわたってスポーツや文化芸術を楽しみ、豊かに関わるために必要な資質・能力等を育てることを目指した活動であること
- 市町村等が定める対象区域内に居住する生徒を主な対象とした活動であること。なお、競技力強化等の観点から広域から生徒を集めることは認められない
- 選抜等を行わず、参加を希望する生徒を広く受け入れること^{※３}

※１ 中学校等の生徒を主な対象とするが、小学生や高校生、大人等と一緒に活動する多世代の取組を排除するものではない。以下同じ。

※２ 児童・生徒へのアンケート調査や生徒によるワークショップ、生徒による活動目標・活動計画の話し合いなど生徒のニーズや意見等が反映される仕組みを設けるとともに、生徒のニーズに応じた多種多様なプログラムを提供することが期待される。

※３ 部活動の地域展開は、障害のある生徒や運動が苦手な生徒等を含め、全ての生徒が希望に応じて多種多様な活動に参加できる環境を整備することを理念としており、そのことを十分に踏まえて対応すること。

②ガイドラインに沿った適切な活動時間や休養日が設定されていること

<確認事項>

- 生徒の心身の成長に配慮して健康に生活を送れるよう、週当たり2日以上 of 休養日を設け、1日の活動時間は、長くとも平日は2時間程度、休日は3時間程度とし、週当たりの活動時間は11時間程度の範囲内とすること。その上で、できるだけ短時間で合理的かつ効率的・効果的な活動となっていること※¹
- 年間の活動計画（活動日、休養日及び参加予定大会の日程等）や毎月の活動計画（活動日時・場所、休養日及び大会参加日等）を策定し、公表していること

※1 例えば、将来的には平日も含めて地域展開を目指すことを前提に、当面、平日は学校部活動を実施し、休日のみ地域クラブ活動を実施する場合には、原則として、休日の地域クラブ活動において、少なくとも1日以上 of 休養日を設ける。ただし、平日の学校部活動と休日の地域クラブ活動の組み合わせの工夫など、多様な形態があり得る。例えば、改革の進展に伴い、体制の充実した休日に活動の中心がシフトしていくことも想定されるところ、週当たりの活動時間が11時間程度の範囲内に収まり、かつ、週当たり2日以上 of 休養日が設けられるのであれば、平日の活動を週3日以内に抑えつつ土日に2日間連続して活動を行うなど、柔軟な対応を行うことも可能。

③活動の維持・運営に必要な範囲で、可能な限り低廉な参加費等が設定されていること

<確認事項>

- 国が示す参加費等の金額の目安を踏まえつつ、地域の実情や競技種目等の特性等に応じて、地域クラブ活動を持続的・安定的に運営していくために必要な範囲で、可能な限り低廉な参加費等が設定されていること

④適切な指導の実施体制が確保されていること

<確認事項>

- 地域クラブ活動において指導や指導補助、見守り等を行う人材（以下「指導人材」という。）が、暴言・暴力、ハラスメント、いじめ、無視等の行為は、許されない行為であることを理解し、自らこうした行為を行わないとともに、参加生徒同士のこうした行為も許さないことを誓約すること※¹
- 市町村等が定める研修を受講し、市町村等に登録された指導人材が活動に携わること※²
- 持続的・安定的な活動を確保するとともに、事故や暴力・暴言等の不適切行為を防止する観点から、原則として、複数の指導人材が活動に携わること※³

※¹ 日本版 DBS の活用を含めて、指導人材による不適切行為の防止を徹底。

※² 研修の項目、指導人材の登録の仕組みなどについては、別紙 2—1 を参照。

※³ 複数の指導人材が活動に携わることが困難な場合には、市町村等の職員・コーディネーターや運営団体の職員等による地域クラブ活動の実施主体への巡回指導を適切に実施すること等により、事故防止や暴力・暴言等の不適切な行為の防止を図ること。

⑤適切な安全確保の体制が確保されていること

＜確認事項＞

- 生徒の発達段階や健康の状態、気温や湿度、暑さ指数（WBGT）等の環境を考慮のうえ、適切な指導内容や活動時間、休憩時間、水分補給の機会等を設定するとともに、活動場所の管理主体と連携した施設・設備・用具の点検等を行い、事故防止を徹底すること
- 市町村等、地域クラブ活動の運営団体・実施主体、活動場所の管理主体等との間で、あらかじめ、事故等が発生した場合の対応や責任関係等を明確化していること
- 保護者や関係機関への緊急時の連絡体制の整備等を行い、事故発生時の対応を適切に行うこと
- 参加者及び指導人材が、自身の怪我等を保障する保険や個人賠償責任保険に加入していること

⑥適切な運営体制が確保されていること

<確認事項>

- 地域クラブ活動の実施主体等^{※1}において、少なくとも、次の内容を含む規約等を作成・公表していること。また、関係法令を遵守するとともに、規約等に基づき適切な運営が行われていること^{※2}
 - ・ 団体の目的
 - ・ 役員（代表、副代表、会計、監事^{※3}）の選任・解任に関すること
 - ・ 総会の運営など団体の意思決定に関すること
 - ・ 会員の入退会、参加費等に関すること
 - ・ 予算・決算の審議・承認に関すること
- 公正かつ適切な会計処理が行われ、透明性を確保するために関係者に対する情報開示が適切に行われていること
- 営利を主たる目的とせずに運営すること^{※4}
- 大会・コンクールに参加する場合には、その運営に積極的に協力すること

※1 運営団体・実施主体を全体として評価し、実質的に適切な運営体制が確保されていれば差し支えない。

※2 日本スポーツ協会の総合型地域スポーツクラブ登録制度の登録クラブの場合には、確認事項の一部を満たしていると判断することも考えられる。

※3 団体の持続的・安定的な運営を確保するとともに、適切なガバナンスを確保する観点から、原則として、代表、副代表、会計及び監事は、互いに兼ねることはできない。地域の実情等により役員を確保することが困難な場合等の例外的な場合にも、監事は、代表、副代表、会計を兼ねることはできない。

※4 地域クラブ活動の実施主体等が、非営利団体（特定非営利活動法人、一般・公益社団法人、一般・公益財団法人など組織構成員に利益を分配しない団体）ではなく、個人事業主や株式会社等の場合には、例えば、当該地域クラブ活動に係る収支計画書の提出を求め、参加費等の金額、人件費、諸謝金の単価等を確認し、営利を主たる目的としたものではないことを確認することが考えられる。なお、市町村等が運営団体・実施主体となり地域クラブ活動を実施する場合において、市町村等が事業者等に委託して地域クラブ活動を実施する場合は、本確認事項は適用しない。

⑦学校等との連携が適切に行われていること

<確認事項>

- 地域クラブ活動の活動方針や指導方針、スケジュール等^{※1}を生徒の在籍する中学校等と共有すること
- 生徒の活動状況や活動実績等について、生徒の在籍する中学校等と必要な情報を共有するとともに、情報を適切に管理すること^{※2}
- 市町村等が学校と連携して生徒・保護者等に対する情報提供等（小学校高学年時の体験会、中学校等入学時のオリエンテーション、アプリなどによる地域クラブ活動の実施状況等の情報提供等）を円滑に行うことができるよう、必要な協力を行うこと
- 活動場所として学校施設を活用する場合や希望する教師等による兼職兼業が行われる場合等には、その円滑な実施のため、市町村等や学校との必要な連絡調整を行うこと

※1 平日の学校部活動と休日の地域クラブ活動が併存している場合などには、平日と休日の活動の一貫指導の観点も含む。

※2 地域クラブ活動への入会時に、生徒の在籍する中学校等と必要な情報を共有することについて、生徒の保護者の同意を得ておくことが必要になると考えられる。

「認定地域クラブ活動指導者」登録制度（イメージ案）

別紙 2－1

1. 目的

この指導者登録制度（以下「本制度」という。）は、認定地域クラブ活動において、指導者による暴言・暴力、ハラスメント、虐待、いじめ、無視等の不適切行為の防止等を徹底し、認定地域クラブ活動に参加する生徒が安全・安心に活動に取り組めるよう、指導者が認定地域クラブ活動で指導を行うために必要となる登録や研修等に関する基準を示すものである。

2. 定義

本制度に基づき、市町村等が定める研修を受講し、市町村等に登録された指導者を「認定地域クラブ活動指導者」と呼ぶものとする。

3. 研修

指導者登録に当たって、市町村等が定める研修は、以下の内容に基づき定めることが考えられる。

（１）対象となる研修（研修実施者）

- ① 市町村等が自ら行う研修
- ② 当該市町村が所在する都道府県が行う研修
- ③ 認定地域クラブ活動の運営団体・実施主体が行う研修
- ④ 市町村等が認めたスポーツ・文化芸術団体、大学等が行う研修

（２）研修の内容・実施方法

研修内容については、別紙 2－2「地域クラブ活動指導者に求められる資質・能力例及び研修メニュー例（イメージ案）」をもとに、市町村等において具体的な内容を定めることが考えられる。

研修の実施に当たっては、対面方式のみならず、オンライン方式も積極的に活用して、一定期間ごと（例えば年 1 回等）に実施することが考えられる。なお、認定地域クラブ活動指導者自身が日常的・継続的に学び続けられるようオンデマンド方式による研修環境を整備することや、夏季に入る前の時期に熱中症予防に関する研修を行うこと、近隣地域等において事件・事故が起きた際にそれに対応した防止研修等を行うことも考えられる。

4. 登録要件

次の全ての要件を満たす者を、市町村等において、認定地域クラブ活動指導者として登録する。

- (1) 中学生年代を対象とした地域クラブ活動で指導することを理解し、そのために必要な資質・能力を備えた者であること。具体的には、上記3. の市町村等が定める研修を受講した者であること
- (2) 暴言・暴力、ハラスメント、虐待、いじめ、無視等の行為は、許されない行為であることを理解し、自らこうした行為を行わないとともに、参加生徒同士のこうした行為も許さないことを誓約した者
- (3) 以下のいずれにも該当しない者
 - ① 拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
 - ② 暴力団或いは暴力団員を始めとする反社会的勢力等である者、又は、これらの者と社会的に非難されるべき関係等を有している者
 - ③ 過去に、暴言・暴力、ハラスメント等の行為や性犯罪歴等があるなど指導者として不適切な者

5. 登録手続等

- (1) 認定地域クラブ活動指導者としての登録を受けようとする者（以下「登録申請者」という。）は、市町村等に対して登録申請書及び上記4. (2) の誓約書（以下「登録申請書等」という。）を提出するものとする。
- (2) 市町村等は、登録申請書等の内容を確認し、要件を満たしている場合には、登録申請者に対して研修の受講案内を行い、研修の受講確認後、認定地域クラブ活動指導者としての登録を行うものとする。なお、上記3. (1) ②～④のとおり、都道府県等が研修を行う場合には、当該都道府県等において、登録申請者の研修受講の確認後、市町村等に対して報告を行うものとする。
- (3) 登録申請者が所属する運営団体・実施主体が決まっている場合には、運営団体・実施主体を通じて、登録申請者から市町村等に対する登録申請書等の提出を行うことや、市町村等から登録申請者に対する研修の受講案内等を行うことも考えられる。
- (4) 認定地域クラブ活動指導者は、登録事項等に変更があった場合には、速やかに市町村等に報告するものとする。

6. 有効期間

登録の有効期間は、最長４年間（登録の効力の発生日の属する年度の翌々年度末（登録の有効期間の更新がされた場合にあつては、従前の有効期間の満了の日の属する年度の翌々年度末））の範囲内で、地域の実情に応じて市町村等において設定する。

7. 経過措置

地域クラブ活動に関する認定制度（イメージ案）の３．（５）に記載の経過措置を参照

8. 不適切行為への対応

（１）禁止される不適切行為

- ① 認定地域クラブ活動指導者は、認定地域クラブ活動の実施に関連して、暴言・暴力・ハラスメント（性暴力等含む）、いじめ、無視等の行為を行ってはならない。
- ② 上記のほか、暴力団或いは暴力団員を始めとする反社会的勢力等となること又はこれらの者と社会的に非難されるべき関係等を有することを含め、各種法令違反等の行為や指導者としての地位の濫用等を行ってはならない。

（２）不適切行為への対応

- ① 認定地域クラブ活動指導者による不適切行為の事案が生じた場合には、認定地域クラブ活動の運営団体・実施主体が、当該指導者及び被害等を受けた参加生徒その他の関係者から事案の事実確認等を行い、市町村等に報告すること。なお、報告を受けた市町村等において、必要に応じて、改めて事案の事実確認等を行うことも考えられる。
- ② 上記のほか、市町村等に設置された通報・相談窓口等において、事案の事実確認等を行うことも考えられる。
- ③ 市町村等においては、報告等により把握・確認した事実関係等に基づき、適切に、認定地域クラブ活動指導者に対する注意、登録取消等の措置を講ずるものとする。

地域クラブ活動指導者に求められる資質・能力例及び研修メニュー例（イメージ案）

別紙 2 - 2

| 項目 | 地域クラブ活動指導者に求められる資質・能力例 | 研修メニュー例 |
|-----------------|---|---|
| ①総論・制度 | 部活動の地域展開・地域クラブ活動に関する基本的な考え方や仕組みを理解している。 | 部活動の地域展開の理念や地域クラブ活動の在り方（認定地域クラブ活動の活動方針等含む） |
| ②基本姿勢・ 服務規律 | 指導者としての倫理観・責任感等を有し、参加生徒の人権を尊重しながら、公正に指導を行うことができる。 | 生徒の人格を傷つける暴言・暴力・ハラスメント（性暴力等含む）の防止 |
| | | 生徒や保護者等の信頼を損なうような行為の禁止 |
| | | 生徒同士による暴言・暴力・いじめ等の防止（適切な集団づくりなど） |
| ③生徒への指導 | 生徒の発達段階や多様な実情等に配慮した上で、生徒と十分にコミュニケーションを図りながら、適切な指導を行うことができる。 | 中学校段階の生徒の特徴や配慮事項等 |
| | | 生徒の発達段階に応じた科学的な指導（適切な休養、効率的・効果的なトレーニングの実施等） |
| | | 生徒とコミュニケーションを十分に図った上での指導 |
| | | 女子生徒の健康課題や障害のある生徒等への配慮 |
| ④安全管理・ 事故対応等 | 生徒が安全・安心な環境の下で活動ができるようにするとともに、事故等が発生した場合の現場対応を適切に行うことができる。 | 生徒に対する安全・障害予防に関する知識・技能の指導 |
| | | 事故防止（施設・設備・用具の点検や活動時における安全対策等） |
| | | 事故等が発生した際の現場対応（応急手当、関係機関への連絡等） |
| ⑤保護者や学校 との連携 | 保護者と円滑にコミュニケーションを図るとともに、参加生徒が在籍する中学校等と連携を適切に行うことができる。 | 保護者との連絡調整等 |
| | | 生徒が在籍する中学校等との連携 |

- ※1 指導補助者や見守り者、参加生徒、その保護者等に対しても、その役割等に応じて、生徒の人格を傷つける暴言・暴力・ハラスメント（性暴力等含む）の防止や、事故防止、事故等が発生した際の現場対応等の必要な研修を実施することが考えられる。
- ※2 教員免許を有する者や、スポーツ・文化芸術団体の公認指導者資格保有者等については、上記の中から全部又は一部を受講したとみなすことが考えられる。その際、保有する免許・資格の種類や活動歴等を考慮して免除の範囲を決定することが考えられる。
- ※3 なお、指導に当たっては、地域クラブ活動における適切な指導の参考となる手引き等が作成されるまでは、「運動部活動での指導のガイドライン（H25.5）等を参考とするとともに、技術的な指導に当たっては、中央競技団体等が作成している指導手引きの活用のほか、スポーツ・文化芸術団体の公認指導者資格の取得により知識・技能を学ぶことも考えられる。